（明治卅九年九月一日第三種郵便物認可）

京城日報

十三日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾五錢（郵送限前金）三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金參圓七拾錢　▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢　▲場所指定一行金壹圓五拾錢　▲三號活字は二號活字同樣　▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通二丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯用三一四番　營業用二二一四番　三六〇番　振替貯金口座　京城三〇〇番

○支那側の調査報告
日本側の報告と懸隔あり＝交渉長引く

夏外交次長は十一日午後三時林公使を訪ひ支那政府の回答を致し且王氏の調査に基き詳細に述ぶる所あり日本側の報告と懸隔の點多きより公使は一々説明を與へ懇談三時間に亙れり十一日の模樣にては交渉問題は幾多の時日を要すべしと（北京特電）

▲交渉解決難
北京に於ける鄭家屯事件交渉は極めて困難なるが如く其後の經過に付林公使より其筋に對し何等の報告來らずと（東京電報）

○獨墺外相の重要會見
維納也來電に曰く、獨逸外相ヤゴー氏と墺國外相ブリアン氏との間に重要なる會見あり食料品問題協議せらる（倫敦電報）

○希臘の聯合側要求容認
希臘內閣は十一日正式に秩序維持に關する聯合國側の要求を容認し豫備兵團本部の閉鎖を命せり排聯合國示威運動の結果希臘內閣と聯合國代表者との間に開催せられつゝありし聯合會議は途中にて中止となれり（紐育電報）

○ドブルヂヤの勃軍喰止
巴里來電に曰く、ドブルヂヤに於ける勃牙利軍の攻勢は喰ひ止められたり（倫敦電報）

○華々しき聯合軍の進擊
ソンム戰線の獨軍作戰更新

ヒンデンブルグ元帥はソンムの戰線を巡閲したる結果作戰計畫を更新し部隊の編成を爲したるもの〻如し但しベルニー及びベロアに於ける獨軍の逆襲は全く失敗に終り却つて聯合軍側の形勢を視るに華々しく開始せられたる組織的の進擊は着々進捗しつゝあり此後の成功は目覺ましきものあるべし（巴里電報）

○與黨合同と政變
與黨三派合同成立後大隈首相挂冠しと同時政變あるものと一般に期待せられつゝあり政界は議會の開會を控へて再び風雲を捲起すべしと觀測さる（東京特電）

○聖上還幸期
日光田母澤御用邸に御避暑中の聖上陛下には來る十八九日頃還幸あらせらるべしと洩れ承る（東京電報）

◉遣露宮奉迎送
山縣政務總監一行は秋山軍司令官、古海鐵道局長等と共に既記の如く十二日午後七時五十分南大門驛發汽車にて釜山に迎き十三日朝同地に著せり、而して一同は殿下奉迎送に關する諸般の設備を視察し同夜御上陸の閑院宮殿下を奉迎扈從して十四日朝南大門驛著其れより更に安東驛まで扈從奉送の筈なり

▲李王家御贈品
李王家にては十四日朝閑院宮殿下御通過の際朝鮮にして最も見事なる梨、栗其他の御果物を御贈進相成る可し

▲殿下奉迎心得
遣露閑院宮殿下は愈々十四日午前七時十分特別列車にて南大門驛著同三十五分御發足あらせらるゝに就き其の筋より通牒を發せる人々は六時五十五分までに同驛構內各自の位置を示せる標札下に集合整列す可く其の他は總て驛前より靜肅に奉迎す可く猥りに構內に立ち入るを愼むべし而して殿下御著の際は龍山野砲兵隊より二十一發の皇禮砲を發する筈なれば一般は之れを以て殿下の御著時間と心得べし

▲長官部長奉迎
遣露宮殿下御通過につき松永京畿道長官は隈部警務部長と共に十三日午後七時五十分南大門發にて成歡迄出張御出迎申上ぐ可しと

▲奉迎送と府民
遣露大使の宮殿下は十四日午前七時十分南大門驛著の御豫定なるが當日は京城市內の各戶に於ても成る可く國旗を揭揚し奉迎の意を表されたしとのことにて尙ほ南大門驛步廊に於て奉迎申上げ得るは豫め京城府より通知狀を發し置ける協議員、組合會議員其他主なる實業家等にして其他の一般奉迎者は構外にて奉迎されたしと

▲奉迎送と軍隊
閑院宮殿下鮮內御通過に際しては沿道駐剳軍所在部隊は何れも兵士を驛前に堵列奉迎送せしむ可きも大田驛は夜中の御通過とて之れを見合はす事となれるが京城にては步兵一個大隊を南大門驛前に堵列せしめ且つ大隊長の指揮する一個中隊の儀仗兵を派遣し又野砲兵は二十一發の皇禮砲を發す可く平壤にては步兵一個大隊の堵列兵並に一個中隊の儀仗兵を驛前に派して奉迎送の意を致す筈也

▲御召列車運轉
宮殿下御召に當つべき特別貴賓車は豫て南大門驛に停車せられ十三日迄には釜山へ運轉せしむる豫定なりしが偶々水害の爲め京釜線不通と成りしより右貴賓車の釜山廻送不可能となり結局釜山より南大門迄特別列車を仕立て南大門より御乘替へを願ひ北上の御豫定にて京釜線に於ける水害現場を特別列車は兎も角運轉せしむる豫定にて今尙應急乘行工事を進めつゝあり

▲鐵道幹部南下
宮殿下御迎並に御召列車運轉に就ての事務を統ぶべく大屋鐵道局長官は三本理事、和田參事を隨へ十二日夜京城出發釜山へ向へり

◉徒步連絡開始
京釜線水害現狀に於ける徒步連絡設備船橋は既報の如く十二日夜工事竣工し同夜南大門驛發臨時旅客列車より徒步連絡開始を見得たるが十三日京城方面よりは該聯絡箇所迄三往復の旅客列車を運轉し同所以南との聯絡を圖れり而して假橋梁は十三日中に竣工開通せしむる豫定にて頻りに工事を急ぎつゝあり

◉郵便遞送復舊
京釜線列車不通の爲め停滯遲延しゐたる郵便物は十三日朝より不通區間の徒步連絡開始に伴なひ遞送平常に復したりと

◉漢江架橋工事
京仁街道漢江架橋工事は目下出水の爲め工事を中止し居れるが本年は降雨頻繁にして作業の支障一方ならざりしに拘らず工事は豫定以上の進捗を告げ中州以南の橋脚は既に竣成せるのみならず其の以北に於ても潛水函の沈下中にて十一月には組立を了る筈なり而して本年は此れにて作業を打切り明年の解氷期を待つて橋脚其の他上部の工事に著手する豫定なるが此の狀況にして推移せば六年末中には全部竣成開通を見ること疑を容れずと

◉寺刹令と取締
寺刹令の施行以來當局に於ては先づ寺務運用の責任者たる住持其の人を得るを主眼とし本寺三十本山の住持は朝鮮總督其の任に適するや否やを詮考して之が就職を認可し其他の寺刹住持は各寺所在地道長官に於て適否を詮議の上就職の認可を與へ之れと同時に又寺有財產の管理を嚴格にして其の徒に浪費を防止するに留意したる結果數年來の訓練は今や漸く監守を振肅にして寺刹本來の目的外に寺有財產を消費するを得ざるの觀念を喚くに至れり、然れども僧散じ財少くして所謂維持の見込なきものは其の事實を審査して廢寺を許すの外なきを以て之れを認可したるもの從來少からず前年度に於ては九件を算したるが本年も亦多少の廢寺を出すを免れざる可し

◉果實輸出支障
長春滯貨の爲め

哈爾賓方面に於ける朝鮮產果實主として林檎の需要は從來も相當の高に上り今後有望の市場にて本年の如く朝鮮產果實の豐產なる際其の仕向け少なからざるべく豫想されつゝあるが最近長春寬城子に於ける東清鐵道の貨物ホームは軍需品の堆貨山積して普通商品の輸送は非常に手間どり早くも長春停滯十日間遲きは實に二箇月を要し全く不定なるより果實の如く速達を要する荷物は今日の所發送し難き事情にあり現に大邱より哈爾賓送りの林檎は長春に於て停滯せる間に其の五割は全く腐蝕して終れる事實ありとの事なるが狀勢斯の如きに付東拓會社は目下諸種關係の調査を進め居り輕々しく北滿への送荷をなさゞるべく或は今秋の露國仕向け朝鮮果實は悲觀の外なからん

◉押川長官著期
製鐵所長官押川則吉氏は二十日入京朝鮮ホテルに二泊の上二十二日夜南大門驛發汽車にて北行滿洲支那方面に赴く豫定なり

◉東拓總裁靜養
吉原東拓總裁は病氣靜養の爲め東上後容態は變調なく麴町區一番町十五の自邸にて只管療養中の由

◉佛領名譽領事
入京中なりし佛領西貢日本名譽領事佛人イサリー、エージ氏は十三日午前七時四十五分南大門驛發列車にて釜山に向ふ

◉江原素六氏退京
滯京中なりし上院議員江原素六氏は十三日午後七時五十分南大門發にて出發東京に向け直行す

◉大邱中學設立協議
大邱學校組合會議員發起となり十日午後一時より大邱府廳に於て中學校設立問題に就き協議會を開く會衆約四十餘名三ケ尻忠吾氏を座長に推し加藤、伊藤其他諸氏の意見交換あり滿場一致を以て此際敷地一萬二千坪の寄附を無償提供し該校の急設を請願すべく同意し委細は學校組合議員に一任する事とせり

◉裁決文例協議
十三日午後一時半より高等法院內に於て前週開會せる高等土地調査委員會總會にて互選せる委員會を開催し渡邊法院長、鈴木局長荻田事務官並に委員會幹事和田佐瀨伊藤の諸氏列席主として裁決文例に付協議する所ありたり

◉外國語學校友會
在京龍外國語學校出身者間にては朝鮮校友會設立の議あり有志は昨今種々計畫中なれば遠からず發會の運を見る可し

◉舊盆と仁川雜貨
例年仁川附近の田舍より舊盆に際し多數鮮人の需用に應せんと小商人の出仁する者多く書入れ時の盛ありしも本年は內地米穀安の爲め逆移入を爲すが如き狀況なる爲め地方人間にも資放たざる者多く田舍にては此故金融困難せりと云ふにはあらざれども昨年程雜貨の買出しする者少く鮮人農家が多く仕入るゝ石油類或は腰帶の如き昨年と比較すれば約八掛位に過ぎず綿絲布に就ては當地大商店に就き聞くに米綿絲作ごろの價格騰貴を見越せる思惑買行はれ例年十月買込む者も八月下旬九月初旬に買込みたるありて之れ等は一個月も早く賣買されたるが這は例外なるも可く綿絲布相場の平常に復するに連れ常態に返る可しと觀測を爲し居れり之れを要するに鮮人向き雜貨は例年に比し其賣行き惡き方にて這は近年鮮人の氣風漸次著實となり來たり在來の如く習慣に從ひ不用の品を需むる事なく質素儉約の精神に從ひつゝある結果如斯き結果となりつゝある者なる可く爲めに代金取立の如き些の困難を見ず進捗するは喜ばしき現象と云ふ可し

元山
▲商議書記長辭任　久しく元山商業會議所書記長として勤續中なりし石井彥三氏は今回愈々辭表を提出したるに就き商業會議所に於ては十日役員會開催協議の結果退職に決定したるが如く目下其の後任者人選中なるが石井氏は辭職後來る二十七日頃群山商業會議所書記長として同地に赴任の筈
▲商議役員申請却下　豫て元山商業會議所より其筋に對し手續中の役員認可申請書は役員の肩書に不備の點ありとの理由の下に十一日を以て元山府廳を經由し再び却下せられたり
▲稅關會議　十一日より元山稅關內に於て開催の筈なりし全鮮稅關稅務打合會は鐵道線路故障に依り參列者不揃ひの爲め一日を延期し十二日より十六日に亙り開催さるゝ事となれり
▲稅關會議と元山官民　今回稅關長會議開催中村地府尹、渡邊警察署長、西村元山商議會頭等の發起にて官民約八十名は稅關主任會議參列者一同を主賓とし元山稅關幹部連を陪賓として賓主上の連絡並に相互交驩の目的にて十三日午後六時より九芳樓上に盛宴を催せり
▲武川氏出發　今回朝鮮銀行を辭職せる武川盛次氏は家族同伴愈々十二日出帆の小倉丸にて鄉里に向け出發したり

安東縣
▲記念植樹　安東官有財產管理會にては最近委員會を開き大典記念植樹の一部なる造林事業に就き協議せる其結果鎭江山麓より六道溝水源地附近に亘る一帶の山地廿七萬餘坪に大正五年度より向ふ五箇年間の繼續事業として經費四千餘圓を投じカラマツ、アカマツ、ハンノキ、ニセアカシヤ、ヤナギ等を植付くることゝし之れが實施は滿鐵會社に委託することに決定せり
▲中村都督　閑院宮殿下奉迎の爲中村關東都督は幕僚を隨へ十三日午後五龍背著溫泉塲一泊の上十四日朝來安同行す可し
▲中村總裁　中村滿鐵總裁國澤副總裁一行は閑院宮殿下奉迎の爲十四日朝來安の筈
▲吉田領事　本月初旬來出張中なりし吉田安東領事は十四日朝歸安す可し
▲仁川商校生徒　仁川商業專修學校生徒第三學年生九名は神長校長熊谷教諭兩氏の引率にて十四日夜新義州著安新兩地を見學し十五日出發歸仁の筈
▲西川氏一行　赤十字社通化療所長西川鎌三郎氏一行三名は旅程を變更し十四日水路赴任の筈

平壤
▲三井价川主任來壤　价川三井鐵山主任工學士鈴木四郎營業主任淡輪雅信の兩氏は九月十一日午後十時來壤翌十二日釜山に向け出發せり
▲平壤最近戶數人口　平壤府在住最近（八月末日）調査に係る內地人戶數二五〇九戶男五〇六八人女四九二九人計九五九七鮮人戶數九四三〇戶男二〇四七九人女二二〇五一人計四〇二二六人なりと
▲總督府視學官來壤　朝鮮總督府視學官阿部丁藏氏は九月十五日より十月十九日に涉り平安南道鐵道以北各普通學校二十六校を視察すべし
▲學校長講習會　平安南道各公立普通學校長講習會は十月四日同十四日迄平壤高等普通學校に於て手工（板金細工、秋細工）の講習會を開催する由にて講師は平壤高等普通學校教諭深水好雄、黃州普通學校囑托教師西堀幸太郎の二氏なり又た十三日より十六日の四日間道廳に於て各小學校長會議を開催し十七日より十九日に涉りては公立普通學校長會議を同じく道廳にて開催すべし

開城
▲紅蔘搬出　專賣課出張所倉庫に保管しありし昨年度製造の紅蔘六百五十一箱は九日專賣課で警官天野三井社員等監護の下に仁川に向け搬出せり
▲水蔘採掘　本年度水蔘採掘は十一日より開始せり
▲チブス發生　市外德岩里東拓移民部落にチブス患者二名發生

忠州
▲大隊長著發　忠州守備隊たる大海大隊長岐阜聯隊に榮轉し後任二宮少佐は九日午前十一時家族同伴來著大海少佐は同日午後零時出發したるが守備隊兵員及び官民の迎送盛なりし
▲學校長榮轉　公立忠州尋常高等小學校長木藤周三郎氏は公立陰城普通學校長に榮轉十二日赴任の筈なるが官民有志より記念品を贈呈せり
▲屠殺場入札　忠州學校組合の經營に係る忠州屠殺場は八月末日限り其筋より使用を禁止されたるを以て既定の計畫に基き新築することゝし十五日工事請負入札に附すべしと
▲守備隊演習　忠州守備隊大隊管下忠州、平昌、尙州、原州の各地に駐屯せる守備隊は十七日より二十六日迄第三期檢閱演習舉行の筈なるが演習課目は銃劍術競技大隊教練戰鬪演習等にして十六日塚本聯隊長檢閱の爲め來忠の筈

群山
▲客月貿易　群山稅關支署調査群山港八月中に於ける貿易狀況を聞くに輸移出品にては米穀二萬八千八百四十二圓大豆九百四十四圓生牛二萬一千三百四十一圓肥料二千八百九十圓等重なる物にして輸移出總計額金五萬七千九十二圓輸移入品にては小麥粉八千二百七十四圓食鹽四千七百零五圓砂糖九千百九十三圓清酒一千百八十八圓麥酒及び黑麥酒一千八百圓石油一千六百三十四圓綿織絲九千七百三十九圓生金巾及び生シーチング十一萬一千五百十四圓晒金巾及び晒シーチング二萬零九百零九圓陶器及び漆器二千六百五十圓叺繩及び莚四千零八十四圓マツチ六千四百零七圓等重なる物にして輸移入總額金二十四萬六千零八十四圓なりしと
▲課稅變更　群山稅關支署に於ては左記の如く輸出有稅品課稅價格を變更し來る十六日より實施すべしと
大豆一石上六圓五十錢同下六圓二十七錢小豆一石上七圓二十二錢下六圓七十五錢小麥一石上六圓六十八錢下六圓三十四錢落花胡麻子百斤並五圓九十八錢牛皮百斤並六十圓生牛一頭最大三十五圓大三十圓中二十六圓小二十一圓最小十五圓等なり

木浦
▲八月檢米成績　八月中全南檢米成績を聞くに總數四千百五十二叺の中優等四百八十二叺上格六百八十七叺下格一千九百七十七叺不合格六叺なりと
▲教育總會　木浦教育會は既報の通十日午後一時より小學校講堂に於て開會則の一部を改め橋本府尹を顧問に推し新に會長に福田有造副會長に商信禮專務幹事に伴諒輔吉村貫之の兩氏の就任を請ひ面目を一新し大に活躍すべしと
▲衛生區長召集　木浦警察署は當地衛生組合役員及び區長を召集し傳染病豫防及び秋季清潔法に關し協議を遂げたり
▲新舊店長披露宴　大邱に轉じたる松田氏及び新任の上田朝鮮銀行支店長は十二日午後七時官民數十名を旗亭東雲に招待し更迭披露宴を開催す因に松田氏は十五六日頃赴任の豫定なりと
▲橋本府尹寄附　大正三四年事件に對し受賞の榮に浴したる府尹は喪中なるに付披露宴をし小學校獎學資金に金一百圓を寄附せり

大邱
▲慶北郡書記異動　慶北達城郡書記砂野才治氏は軍威郡書記に同高靈郡書記松波文支氏は達城郡書記に各轉任を命せらる
▲虎疫注意告諭　近來內地虎疫猖獗を極め居る爲め慶北道にては充分なる豫防警戒をなしつゝあるが慶尙北道警務部は今回更に一般管內住民に對し是が警戒告諭を發せり
▲服部警務部長檢閱　服部慶北警務部長は檢巡閲施行の爲め第一回は十五日より四日間軍威分遣所及び其管下並に永川署管下の一部に第二回は同月二十三日より十七日間安東、醴泉の隊署及び其管下並に榮州、聞慶、尙州、義城、善山、倭舘隊署管下の一部に出張の筈
▲小學校秋季運動會　大邱公立小學校にては來る二十二日の金曜日を卜し達城公園に於て秋季大運動會開催の筈

釜山
▲輕鐵重役來釜　朝鮮輕鐵會社長牟田口元學氏は十五日頃東京出發來釜の筈なるが同人と共に取締役武和三郎氏も來釜すべし
▲興業新支配人　朝鮮興業會社釜山支店新任支配人長瀧武司氏は十一日午前內地より來任せるが前任堀家虎造氏と事務の引繼を了したる上堀家氏は廿四五日頃本店に向け出發の筈
▲道長官來釜　慶南道長官佐々木藤太郎氏は遣露閑院宮殿下釜山御通過に付奉迎送の爲め十二日晉州より遠藤書記を從へ來釜大池旅館に投宿せり

人事消息
▲西尾鎌次郎氏（鑛業家）　十三日朝退京
▲千谷好之助氏（東北帝大講師）　同上
▲水間春明氏（咸北警務部長）　同上
▲平山廣氏（陸軍二等軍醫）　同上
▲岡元輔氏（京城高等普通學校長）　二十四日より江原咸南兩道へ出張
▲村田素一郎氏（鑛務課長）　十三日朝南大門驛發汽車にて忠淸南北道に出張
▲齋藤音作氏（營林廠長）　事務打合の爲め十五日出京の筈

觀月句集（十二日大塊廬にて）
よぼ〳〵と月を訪ねて友の庵　醉象
名月や暗き心の底も照る　大塊
名月や狐狸の隱る蔭もなき　唖城
月すめり松其儘の影を寫して
月さへて虫は木間に飛び入る
親は酒兒は團子手に月見哉　加來
山も海も心も消き月見哉
名月を黍の穗垂の曠野哉　虎耳
鬼死今宵の月に化裝せり
月今宵秋の命を描きけり

回會寧より　烏公
朝の雨は燒付く日に晴れ上つた。行礎から六里の羊腸を會寧へ出る。砂を渉つて轍荒れのしたタラ〳〵から城壁の壞れを會寧の町に入る所へ會寧の高みで西と南へ下る傾斜の上に會寧の町がばら撒けて居る。朝鮮氣分に支那氣分を加味した古い會寧が內地氣分に壓倒されて行く。軍隊は賑はる輕鐵は廣軌に擴がる未來與近の發展に向つて忙しく用意して居るのが今の會寧である。で例も北關一流の牛車が一日ギー〳〵と古い音樂を奏でゝ市中を通てゐる今が冬木の刈入時である（九月九日）

護國山城に登る
秋の水を渡る驢乘る馬乍ら
女郎花より城門に馬乘入る〻
蕎麥畑小豆畑も瓦片なる
松茸に次の一雨を待てる
　雲鶴井
手洗ひ手切る濁りなき秋の水
　路途
なだらな丘での牛市に晴るゝ秋

閑院宮載仁親王殿下

國旗軒毎に飜りて 使節宮を迎ひ奉る釜山

畏き旨を帯ばせられ遠き露國に至らせ給ふ閑院大將宮殿下には道を朝鮮にとらせられ十三日午後九時十分連絡船新羅丸にて釜山御着松原船長の御先導にて特別ブリッヂより第一棧橋に御上陸、同所より大屋長官の御案內にて鐵道ホテル御休憩所に成らせられホテルの謁見室に於て若松釜山府尹、郷津檢事正、矢野釜山稅關長特に橋本釜山署長及び軍隊將校其他民間の重なる者二三名に謁を賜ひ午後十時發の特別列車にて京城に向はせらるゝ筈にて釜山港に於ては過日來夫れ〳〵奉迎の準備中なるが連絡船御警衛の爲め釜山憲兵分隊野津中尉は部下四名を率ゐて十二日下關に出發せり殿下御出迎ひの爲め山縣政務總監、秋山軍司令官、立花師團長、古海警務總長、鐵道局より大屋長官、三本課長、和田參事等十三日午前九時五十分著列車にて京城より來著、佐々木慶南道長官も十三日朝來釜せり殿下の御通過あらせらるべき京釜間鐵道沿線は內鮮人を問はず各戶國旗を掲揚して奉迎の意を表し釜山に於ては各町各戶悉く國旗を掲げ連絡船其他碇泊の大小船舶は何れも海船飾を施し居れり殿下の御休憩所に充てられし鐵道ホテルは過日來御休憩室及び謁見室等全部の塗換を爲し御召しの椅子は白羽二重にて蔽ひ敷物其他室內の裝飾品一切は全部京城より携へ來れる由又殿下の御荷物は總數七十四個にして十三日夜連絡船にて到著の筈なるが大なるものは長さ七尺幅四尺のものありと（十三日正午釜山電話）

農作物の全滅 △二百八十戶の鮮民△糧食を失ふて泣く

去る九月二日間島を襲ひたる颶風は龍井市より約二里なる門樓溝を中心とし馬鞍山、龍井市、大墟門附近に及び範圍狹小なりしも農產被害少からず就中門樓溝南溝は二錢銅貨大の降雹積むこと三寸に達し是れがため農作物は殆んど全滅に近かきまでの被害あり豚、犬、鷄等の家畜類降雹に打たれ斃死したるもの無數にして雀の如き數百羽算を亂して死せりと何ぞ堆積しありし麥は颶、疾過のため飛散し全く痕を留めざるに至り粟高粱豆類の如き結實の儘散亂し同部落二百七八十戶の鮮人は食糧を失ふ悲地に陷り家族相擁し淚に暮れ居れりと（間島特信）

十二名濁流に捲き込まる

咸安郡伽倻面主東里の住民數十名は六日の豪雨にて咸安川氾濫し濁流滔々堤防に迫り來れるより各々手に〳〵鍬、鏟等を持來り水防に熱中し居る際俄然後の山崩壞し來り働き居りし鮮人十二名は濁流の中へ突き落されたり急報に接したる咸安駐在所にては直ちに本署へ通知して應援方を依頼せるにより本署より警官出張し善後策を講ずると共に一方數十人の人夫を督し屍體捜査中なりしが十一日の朝迄に漸く五名の屍體を同川下流に於て發見引揚ぐるを得たるも殘り七名は未だ行衛不明なりと

●救助網に刎ね飛ばさる

十一日午前十時五十分頃京城鍾路四丁目を京城電氣會社の八十八號電車が疾走中林町張雲善の長男漢甲（七）と其妹千蘭（三）の兩名が線路を横切りたる刹那千蘭は救助網に刎ね飛ばされ頭部に治療十五日を要する打撲傷を負ひたる騒ぎに鍾路署の警官駈付けて檢視の上千蘭は總督府醫院に入院せしめ運轉手は取調べ中

●檢疫官を欺いて 罰金三十圓

釜山居住の上原貫太郎は過般內地に歸省し虎疫指定地たる大阪を出發しながら釜山牛仙臺にて一定期間の停留を免るゝ爲途中岡山にて切符を買ひ直して連絡船より釜山に上陸して檢疫を免れゐたること發覺し取締規則違犯者として罰金三十圓に即決されたり

◆頼れて强盗を働く 賴んだ男の主人の家へ

京城光化門通金鐵健の妾雅姓女方の下人申德均（三九）は雅姓女が常に金指環等を所持し居るを見て之れを强奪せんことを企て知人なる仁昌洞洪輔京（二六）を頼み八月二十九日夜鐵健の外出不在中を見澄まし同夜午前二時頃德均の手引となり輔京を浸入せしめ輔京は就寢中なる雅姓女を叩き起して指に嵌め居る金指環二個（三十圓）及び銀製簪一個（四圓）を强奪して逃走せるが德均は此他にも雅姓女の名義にて他より石油一斗を騙取したること發覺して兩名共鍾路署に引致さる

●猿の如き大賊

京城花洞朴興詩（三五）は前科三犯ありて本年八月十四日午後八時頃旭町一丁目佐藤某方家人の不在を見て猿の如く土塀を乘り越えて戶締の錠を引拔きて侵入し十八金金側懷中時計外數點（百五十二圓）を窃取したるを手初めに外六箇所の內地人のみの居宅の屋根或は塀を越えて侵入し現金衣類雜品等數十點（約三百圓）を盜み出したるを此程本町署の刑事に取押へられ取調べの上檢事局に送られたり

●孝行娘 賤妓となる

廣島縣吳市生れの木下いとのは幼少より實母に孝養を盡し鄉黨の模範と呼ばれ居りしが昨年の御大典に際して孝子の廉を以て金五圓を賞授せられたり然るに今回家計愈々困難となりし爲め寧ろ娼妓に身を墮して老母を扶助せんと決心し夫れには內地に於て賤業に從ふも面目なしとて終に光州西門外新玉樓より前借金百五十圓にて源氏名を一筆と名乘り現はれたりと（木浦）

◆まるで大井川 泣くやら喚くやら散々の混雜 水害地徒涉記

『水原驛では軍浦場始興間の線路が大崩壞した爲乘車客が旅館は勿論寺や鐵道官舍に迄溢れて居る』大田で斯な噂に驚かされた水原に著いて樣子を聞くと『九日から十日頃から炊出をして居る』の降車客が二百人內外ですから炊出をする程の騷ぎも演じませんが、然し宿屋は膝も折り得ない程の大混雜で構內に臥る事すら默認した程ですと驛長が語つた

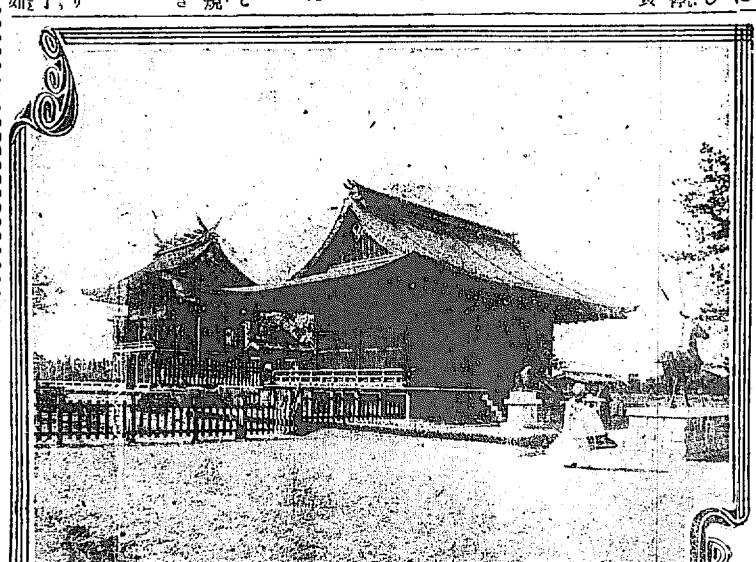
◆汽車は 軍浦場迄行くが同驛から始興迄七哩の間徒歩せねばならぬと言ふ事であつたが行程を急ぐ旅客は少々の苦痛は忍んでも是非踏破せねばならぬこととして水原から乘込む人も尠くなかつた、軍浦場驛で下された三百餘の旅客は擔軍を雇つて鐵道線路を蜿蜒長蛇の如く始興に向つた、軍浦場驛から二哩半許りの間は出水の名殘りも止めなかつたが唄嗟洞に入ると氾濫の跡は廣潤な田畑に印せられて黍も粟も稻も泥土に塗られてあつた唄嗟洞の鐵橋は橋臺が破潰された爲め

◆旅客は 一株に濁流尚未だ渦を逆む河を渡涉してバラスが崩れて步道を埋めたり龜裂を生じたりした線路を安養驛に急いだ、軍浦場安養間の水害の慘狀は左程でもなかつたが安養始興間は四五の河川が氾濫して稻田や畑は河心となり橋梁は何れも流失して居つた止む無く旅客は擔軍の肩に乘つて渉る事數丁の間は河又河流石の擔軍も緊息奄々安養川の鐵橋はヒーヤも橋梁も全く流失して工程を急ぐ人夫が兩岸に白山を築いて應急工事に著手して居た、氾濫の跡は

◆對岸迄 實に十町餘に及んだが十一日から急に減水した爲め河の渦は中洲に三分されて渦巻き乍ら流れて居た『安養川は恰度大井川の樣に肩車でなければ渡れない』と水原の驛長が言つた樣に褌一つになつた鮮人の雲介が二三十人も數百人を一々肩に乘せて『カマニー』『カマニー』と互ひに警しめ合ひ乍ら對岸に運ぶ主人を慕ふて悲鳴を擧げ乍ら泳ぎ渡る犬や、衣類を頭に戴いて渡る男なども東海道五十三次に畫かれた大井川渡しの場に髣髴して居る渡り了ると旅客の爲めに始興驛から發せられた數輛の貨物列車に

◆六百餘 の旅客及び人夫が詰司詰めに積み込まれて始興驛に運ばれた、始興驛に著くと六百餘の乘客が一時にどつと降りた爲め驛構內外は時ならぬ雜踏を來して蟻の這ふ餘地もない程であつた、乘客の大部分は朝食も喫せなかつた爲めに始興驛に到著すると急に張りつめた氣も弛んで全身に疲勞を覺へ空腹を感じて立つて居る事も出來ぬ始末であつたが、何分田間の小驛にて駄菓子一つ賣る家もない爲め奈何ともし難く小兒や婦人の如きは潸然泣く者さへあつた、コレラ豫防上絕對に

◆飲料水 の給與を禁ぜられて居たにも不拘驛構外官舍の三枝氏夫人の好意で冷水を給與された爲め一同蘇生の念をしたとて同夫人に深甚の感謝を捧つた午後一時二十分發の豫定の列車は增結の必要上一時間餘遅れて二時半頃發車、三時半南大門驛に著車したが旅客中には一週間下の關に停留を命ぜられた上に釜山でも三日間逗留を餘儀無くされ更らに汽車不通の爲めに三日間も途中で滯留させられた人もあるので京城の土を踏むと始めて我家に歸つた樣な氣もしたと滿面に笑をたゝへてゐた


□伏見桃山乃木神社 十三日正遷宮執行

●大阪の虎疫病院を觀る 診療法の進步—行屆いた設備

◆大阪で昨今大繁昌を極めてゐる處は何處かと云はれたら桃山病院と答へる外はない市外東郊竹ヶ崎町に大正元年建築され土地高爽空氣清良衞生的設備が完成されてある院長博士増山正信氏副院長市川定吉氏以下十三名の醫員十名の事務員百四十名の看護婦二百餘名の準看護婦附添人百餘名の小使消毒夫人夫雜役が不眠不休の有樣で日夜虎疫と惡戰苦鬪を續けてゐる

◆患者は最初診察をうける時大きな鐵の寢臺に載せられる、それから各病室に運ばれるが普通病室バラックの一棟は滿員で六疊に二人と云ふ割當、知名の患者には大阪土地の支配人傍地定治氏小森檢事夫人などがあり其他松島の娼妓以下安治川筋航行の船夫仲士等其數各傳染病を通じて四百九十餘名、町醫者の往診が多くは午後であるから警察へ進告した上病院へ收容するのに出盛る、係員受附の忙殺されるのはこの頃である。

◆それから幾廻りの廊下を挾んだ兩側の病室から重症患者の呻く聲を聞くときはこの世の有樣とは思はれぬその間を白衣の醫員看護婦が往來するのを見ると宛ら地獄の繪卷物を展げたやうに思はれる、患者は勿論附添人はこうした中から勝手に飛出す譯には行かぬ、患者には絕對に面會禁止親子夫婦兄弟と雖も附添人を病室の扉の外へ呼出して簡單に談話を交すか、附添人の外出は五日間隔離の後でないと許されぬ世の中との交涉は只僅かに南七一五、七一六の二條の電話線によつて繫がれてゐるのみと云つても可い

◆併し中には經過の好い患者も少くない衞生思想向上の結果手當が早く行屆くのと診療法の進步によつて二百二十一名の市內虎疫患者中死亡者七名と云ふ好成蹟を擧げてゐる、で經過好良の患者の附添は入浴と食堂に行くのを樂しみに愁眉を開くのだが食堂は無論患者は寄附けぬ至極清潔なもので、入浴場も町の錢湯の二倍もあつて廣き湯槽に殺菌の目的で少々熱いが清い湯が湧いてゐる、浴場と食堂は附添人のパラダイスで浮世話も取交はされ地獄中のオーシスである

◆情けないのは死亡患者で看護婦が死後消毒を行ひ病院背後の低い屍室へ移す、屍室は寺の一室のやう中央に如來の軸掛線香などあつて消毒夫が無雜作に入棺せしめる、危篤の報を得て宙を飛んで馳せつけた緣者はこの刹那に一目佛の顏を見るばかり人夫料九十錢棺桶料六十二錢火葬料一圓五十錢骨入料三錢合計三圓五錢を拂ふと死亡診斷書火葬認可願書が渡り阿部野へ送られ荼毘の煙となる哀れと云ふも中々に愚かである（大阪支局記者）

◎人妻を誘拐す

京畿道始興郡西面南面藤里生れの鄭姓女（四二）は水原郡長安面紫安里居住の盧德文（四十）と共謀し德文方同居中なりし忠北淸州邑內連川里居住の重石鑛夫黃金元が獨身者なるより同人に妻を周旋すべしとて水原郡八灘面梁志顯三男三龍の妻車北顏（二一）を唆かし三龍方は貧乏人なれば他の富者へ轉嫁すべしと甘言以て欺き本年舊六月十四日夜車北顏を誘ひ出し黃金元へ引渡し金十圓を金元より領得して分配したる爲め檢擧せられ京城地方法院にて鄭姓女は懲役一年盧德文は同八箇月の處分となる

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▽川柳『酒』 慶北高山郡缺尾 戶方

◎不動産酒と女で動き出し（一等）

△酒の醉さめて女房がこわくなり 永同 一雪

△酒絕つて世間三分になつちまい 京城 城田山翠

△禁酒せし當座は但書が入り 龍山浦 奇好子

△濁酒を吞んで天下を今日も取り 仁川 江崎思外

圖課題及び募集規定は欄外にあり

◎學校を襲ふ

京城光熙町二丁目宋聖男（三）は八月三十日午前十一時頃京城醫學專門學校の玄關にて學生二名の靴を搔つ浚ひ逃走中を同校の案內係に捕はれ鍾路署に突き出さる

◎十箇所を荒す

住所不定の李祥基（四）は本年四月三日午前八時頃貫鐵洞李範九方に忍び入り軸物一幅を竊取したるを手初めに九月一日迄に外十箇所の鮮人宅より價格數十圓の金品を竊取したる爲め鍾路署に檢擧されたり

◎橋梁より墜落

十一日午前六時大田發車木浦行列車が金堤泰仁間進行中鮮人男一名錦江川橋梁を直行し居り機關車に觸れ河中に墜落したるより停車の上工夫等と共に搜索の上發見し屍體は金堤警察署に引渡したり

◎釜泥

大分縣日田郡日田町字豆田生れ京城南米倉町鮮人宿止宿の左官職井上豐吉（四四）は九月八日午前二時半頃南大門通三丁目澄川某方の炊事場より釜一個を竊取して逃走中を巡廻中なる本町署の巡査に怪まれ詮議の末取押へられたり

●連絡船上陸客 十一日午前入港さくら丸より上陸［illegible］同すみ、同嶺夫、同惠琳、［illegible］、高橋たか、［illegible］ 堀たか、堺內興助 三等（百五十一名）

一、山田正七、串間福樹、中村文造、清水英世、那須善三郎、勝田堅光、板屋なか、齋藤愛三、同まさ子、海山市松、下阪重行、濱和吉 三等（三十九名）

●連絡船船繰 關釜連絡船は

十三日 夕著 朝發

十四日 朝發 夕著

圖讀者文藝課題及び募集規程

圖募集規程 の洋紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は［illegible］▲川柳は端書又は同［illegible］紙上の雅號又は匿名［illegible］

天氣 晴れ一時曇り ▲九月十三日（十四日午後六時迄）

○日出 六時 ○日沒 六時

滿潮 仁川 午前 午後 釜山 午前 午後

演藝案內

有樂館 日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六
○九月八日より特別大寫眞提供 △滑稽ルナパーク ○實寫一九一四年ダービーの大競馬の實況 ○日活會社大傑作 △新派京劇新馬鹿大將禁酒運動の卷 ◎新派大悲劇『櫻子』全四卷 △危うきは人の運命、蛇の如く恐ろしきは花の色［illegible］ △米國ルビン會社最近の傑作 ◎大冒險大活劇『暗號書』全三卷 ［illegible］ ◎舊劇『酒井の太鼓』全三卷 ［illegible］

浪花館の女義太夫 連夜大入 今晚の語物 壺坂 林之助十八番もの是非御聞き下さい

黃金館 電話二六三七（階下）一八五二（階上） M・カシー商會 日本活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
○九月十四日より差替特別大寫眞 ▲滑稽野人と戀 ○獨逸ビオスコープ會社一大特作品 ○泰西正劇『怪幽魂』全三卷 ［illegible］

浪花館 明治町 電話二六〇 大阪女義太夫一座竹本林之助一行來
五日目（十三日）語物 △御祝儀寳の入船（入登）△梅の由兵衞 △鎌倉三代記 三浦別れの段（林廣）△朝顏日記 宿屋の段（廣久）△御所櫻三段目 辨慶上使の段（任子）△忠臣藏八ツ目 本藏下邸の段（林玉子）△卅三間堂棟由來 平太郎住家の段（は升）△布引四段目 小櫻實の段（久子）△卅三所花の山 壺阪寺の段（林之助）△三味線（東馬他）つれ引（久子）◎晴雨に論せず毎夜正六時より開演仕候

大阪毎日新聞連載小說 將軍家內命の漫遊 柳生旅日記 新派大悲劇 小夜嵐 入場料普通 大正館

大正館 櫻井町 日本活動株式會社朝鮮代理店 電話八七三
○九月十三日より特別大寫眞 ○實寫ザグリオ灣の風景 ○滑稽メリー・ピンブル作の探偵 △伊太利ザイーエンドフェルト會社傑作 歐洲戰亂餘聞 ◎軍事活劇『軍使』全三卷六千呎 △立花貞次郎藤澤淺次郎一派出演 △日活會社最近撮影の逸品 ◎新派大悲劇『小夜嵐』全三卷廿八場 △伯爵の落胤と生れながら奇しき運命に弄ばれつゝ多涙多恨の中に泣く乙女［illegible］ ○喜劇 末路（貧乏人と澤山の子供）○大阪毎日新聞連載小說 △尾上松之助一派出演 ○舊劇『柳生重兵衞旅日記』全三卷 △柳生流の奉斗重兵衞義光は天下無双の奇傑なり三代將軍の內命を蒙り諸國を遍歷し親しく諸大名の裡面を偵察す途上或は孤兒を扶けて父の仇を報せ［illegible］

御成座 電話一一九一 町 革新派中村榮一行 第八十七回狂言（九月十四日）
一番目 僞忠義 全七場
二番目 武士と町人 全一場
［illegible］之助大得意の任俠劇

此頃ドナタも足袋は 山の如きお仕入をした 國譽とお名ざしです
大阪東區本平野町五 國譽たび本店
國譽たび 冬物荷揃

移轉廣告
本院仁川分院儀仁川本町三丁目四番地（井上藤吉商店下）ニ移轉從前ノ通リ治療ニ從事ス
九月十日 野田齒科醫院

長女鶴江儀豫而病氣の處養生不相叶十三日午前十時死去仕候に付此段知諸君に謹告仕候也
追而葬儀は十四日午後四時自宅出棺新町高野山に於て施行仕候
大正五年九月十三日 京城本町四丁目
父 陣之內吉次郎
兄 陣之內鹿雄
友人一同

葬具一式
造花、生花、花環、寄贈品裝飾品、其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候
京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

葬儀請負
供花御寄贈品一式
京城本町二丁目（蔘舘横）
㊊朝鮮葬儀社 電話五六二番

神佛葬儀請負
供花御寄贈品一切
京城大和町壹丁目五一
大和葬儀社 電話二四三八番

佐伯あさ、宍戸乙彦、井上やね、赤岡良一、近田龜太郎、井本恕二郎、安家なね、辻秀香、前澤成美、齊野なか、同修、近澤義美、井上敬二、小松長三郎、同長七郎、江頭祭吉、長岡武、同きん

十一日午後入港新羅丸 二三等客 一等(一名) 太田五郎 二等(十五名) 太田徳光、同みつ子、山根善正明、後口軍吉、赤澤清水、佐々木平四郎、河野龜藏、野口文次郎、熊谷丹仲、栩野藤太郎、榎本喜、荻葉軒、岡相臣、ヨツセルアイスパールの十六名

◉遙々樺太から 少女の獨旅

△汽車の不通に泣く △同乘旅客の惠み金

十日午前九時釜山入港の連絡船で上陸した旅客は何れも京釜線安養驛附近が故障不通なために途中で△三四日間 滯在せねばならぬと聞いて驚いた中にも三等旅客の一人であつた十三歳ばかりの少女は心配さうに此のはなしを聽いて居たが果てはプラットフオームを彷徨ひながらさめぐ〵と泣き出したこれを見た水上署の巡査は何うした理由かと仔細を訊ねると『私は安東縣の兄を尋ねて行く爲め△樺太から 下關まで父に見送られて來たが途中で滯在する樣なことになると旅費に困る』と歔欷きつゝ發車間際になるも乘車しようともしないそこで列車の同乘客や車掌は大いに同情して兎も角も少女を慰めて乘車させたところ列車が大邱驛に至る迄に專務車掌の斡旋に依つて六圓三十錢の惠贈金が集まつた然るに同乘客であつた天安郵便局長の柴田氏は甚く此の少女に同情して安養附近の△線路復舊 までは自宅に逗留なさいとて目下同家に引取つて居る少女は汽車開通の日を待ち焦れつゝ有るが遙に樺太から來て懇篤親切な同乘客があつたことを非常に悅むである

□虫の聲

(一)

あれ松虫が鳴いてゐる
ちんちろちんちろちんちろりん
あれ鈴虫も鳴き出した
りんりんりんりんりいんりん
秋の夜長を鳴き通す
あゝおもしろい虫の聲

(二)

きりきりきりきりこほろぎや
がちやがちやがちやがちやくつわ虫
あとから馬おひおひついて
ちよんちよんちよんちよんすいつちよん
秋の夜長を鳴き通す
あゝおもしろい虫の聲

なし熊谷教頭外一名の教師附添ひて平壤、新義州方面に赴くべく二學年生以下百餘名も教師附添ひて十五日水原方面へ修學旅行をなす可しと

秋の帯揚と腰紐

そろ〵秋支度になつて來ました、婦人の小物類を調べて見ますと、帶揚にも腰紐にも白地が少くなつてこれに代るに白茶地、鼠、紺、茶などの地色が多くなつて來ました。帶揚げは友禪の美しい古城模樣や彩色の派手な絞生地の模樣で三圓前後、鹿の子の細い絞りは既に半衿には廢りましたが、帶揚にはまだ勢力を致へす、模樣は麻の葉絞よりも花菱や龜紋のものが喜ばれるさうで、此絞の方は下町に向きます、價は二圓前後、腰紐の方は染分けのだんだらや簡單な飛模樣で二十錢前後ならばクリーム、新橋色、紫、淡い納戸で模樣は染分け絞や友禪が多い樣であります、又年増向きでは濟鼠、オリーブ、茶等が多く意氣向きには橫縞、や三筋なども秋らしい清楚な配色で彩られて居ります、それ等の腰紐は主に丸ぐけで價は七十五六錢位からあります、それから帶止めも金具なしの組紐が流行つて居りますが此頃組世よりの組が流行つて居ります色は好みで色々あり値段は十五六錢から三十錢前後迄あります、それに縮緬の紐では絞りが五六十錢、友禪物も七八十錢から色々あります

神社とお寺と教會

○東本願寺(南山町) 十三日午後八時より信友會歩船の鈔講話あり
○開教院(本町三) 十三日午後二時より婦人例會あり南演安氏の講話あり
○護國寺(旭町三) 十二日午後八時より日蓮上人の逆俊につき説教あり猶ほ十三日午後一時より婦人例會ある由
○西本願寺(若草町) 十四日午後二時より以○○○行會あり
○天理教(壽町) 十三日午後一時より月次祭を執行したり

十四日は論山、十五日は鳥致院、十六日は忠州十七日は溫陽、十八日は禮山、十九日は水原、二十日龍山にて講演すべしと

茶番 あのこ

初めて日本に來た耶蘇宣教師 Francisco de Xavier はフランシス、ザビヤとのみ覺えて居たら△『宮本武藏』にはヤシエルとあり『朝鮮彙報』九月號にはフランシスコ、ド、グザビエとある△切支丹魔術の大親玉で名前迄が變形自在なものだ△去る物識先生にお尋ねしたらフランシスコ、デ、ハビエルと讀むのでハビエルは光榮といふ意味の西班牙語だ さうな

◎乃木大將講話會 西大門小學校にては乃木大將殉死當日たる十三日午前中より乃木大將の講話會を開き講堂には大將に關する寫眞、繪畫、書籍等を陳列して生徒の觀覽に供したり

◎仁川商業修學旅行 仁川公立商業專修學校にては九月十二日より十六日迄三學年生の修學旅行を

◎久保觀察僧正巡錫 京城眞宗高野山教會本部久保僧正は目下南鮮地方巡錫中なるが十日は江原にて十一日は群山、十三日は裡里

お休日記

△漢江の船遊び 日出小學校尋六 横尾治武

○七月二十九日(土)晴、午後三時頃より大垣君、大垣君の父上、それから弟、僕の四人づれにて漢江に川遊びをなす。モーターボートに打乘りて鏡の如き水面をすべるが如く縱橫無盡に乘り廻す、その愉快さは何にたとへん物もなし。やゝありて中流に出づれば、何れも着物ぬぎ捨て、水着勇ましく飛び込み、砂地に泳ぎつきてころがり遊ぶ。七時過まで遊びて歸路につく、途中カフエーメイカーに立ちよりて夕食をしたゝむ。十時就床

△線香はなびの光 日出小學校尋三 阿部富美子

○七月二十一日(金)夕方、大上さんとはなびせんこをしました、はなびのさきに火をつけるとぴかぴかと光つてまつのやうなのが出ましたあら大上さんといつてゐるまにおちました

△松の舞子を東窓から 日出小學校尋四 石塚照端

○八月二十八日 今朝京都を通りすぎた。こうべあたりに行くと海が見えて大へん心持が善なつて、からだ中がうきたつやうである、ほかけぶれや大きな汽船がはしつてゐたりする。山や松や家などが後にはしつて行く。又小さい島や大きい島のとうだいも見ゐた。もう海も見えなくなつた。汽車は山や野や里をいきほひよく走つてゐる。

△友達のお葬式 日出小學校尋五 田中しづ子

○七月二十二日(土)曇、朝起きて縁側に立つて見るとやれの庇から雨だれがぽたり〵と落ちて居た。私は今日も雨かと思つた、それから昨日のやうに妹と一しよに六時うつてから朝起會にいつた。今日は人の一生にとつてかなしい〵事が一つ起つた、それは外でもない黑田千代子さんがおなくなりになつたのだ。五年一同はその御葬式に參列した新町の御寺のぼうさんがおきやう讀む時に黑田さんの身の上がしみじみ思ひ出されて思はず涙がこぼれた。そして床につくまでも黑田さんのお顏が目にうつてゐた。

△せんそうごつこ 日出小學校尋三 鈴木光武

○七月二十六日(水)晴、にいさんとおくわしをたべてゐましたら池田君と木村君がきましたから『何かい』といつて門のそとへ行つて見ると池田君はれんがにかくれ、木村君は門のよこにかくれてゐました。それからすなの上であそびました。せんそうごつこをした時、すゝんでいつたら、ばつたりてきにであつたから、いさましくたゝかひましたがまけてしまひました。夕方にはきれいにしてそこで夕食をたべてましたが大そうおいしくありました。今日はじつにゆくわいでありました

商況

東京株式特電

十二日 前場寄付 大引 [illegible]

東京債券現物特電

十二日出來値段(前日との比較) [illegible]

東京公債直取引

十三日出來値段(前日との比較) [illegible]

深川在米特電

十三日現在高 [illegible]

東京期米特電

十三日前場 [illegible]

大阪株式特電

十三日前場 後場 [illegible]

大阪三品特電

十二日前場 [illegible]

大阪期米特電

十三日前場 [illegible]

下關期米特電

十三日前場 [illegible]

雜報

極點に達せるもの、如く從つて皮價も夫れ〵契分兇の引端を報じ居れり之がボックス皮は何れも平素より軍需品に應じ居れる傷の引續き製皮を爲し居れるは目下山陽皮革あるのみにて在品財る排底の模樣なり殊に皮革類中軍靴注文決定の影響を受けて本品は從來豚皮靴底の裹みに使用せられしのみなるに羊皮の輸入杜絕の折柄軍靴裏の代用として俄然需要を激増し今回之に付一躍五六錢方の暴騰を演じ其他米國英國商人之を嗅ひで象皮五國キッド十錢方の引上げを見るに至れり軍靴は今回決定の注文のみならず露國に於ける補兵の靴上げ靴十何萬足も旣に契約成立し其他婦人用靴の注文も入込み居る模樣なれば當地の間に於ても朝鮮皮革會社と當業者との間に附屬皮の大取引の行はれつゝありといへば斯界の前途は益々活氣を添ふるならん

◉鑵詰類好況 物價及び罐詰類の概ね昨今乾燥に賣行きの好況を呈し來り原因は秋冷の候に入りたる生魚類に廻着少なき爲めならん一つは虎疫流行の響きもありて各戸比較的安全なる物の需要を喚起せる結果鑵詰類は當地の消費多く最近迄內地高に拘はらず相場を上げ居りし當地は概して錦の三十錢方を引上げたり就中鮭は輸出好況の影響を受け一時九圓臺なりしも物十一圓八十錢へ騰りたるが其他雜は殆ど品切れの體なりと

◉利尻樺太新昆布 利尻及び樺太新昆布は弗々ながら旣に廻着を見るに至りたるが目下卸相場は利尻十貫十圓、樺太十二圓處にて前年の出廻り端に比し利尻にて二圓樺太にて約三圓の値下に當り更に四圓內外の安値なり

◉精白米ヂリ高 米正 氣配は其後格別變動なきも鮮盛前の廻米旣なりしと各地の出水に出穀杜絕したる事は精米口の原料に騰手なくも出廻る迄は當分強保合の見越にて十五圓六十錢處を唱へ居れり

下關相場

◉青豌新物氣配 青豌は産地北海道にて旣に新物の商戰烈にして集散市場に於ける人氣の興廢は殆ど變幻極りなきも昨今の小樽市況は頗る良調を極め居れる本年の作柄は早天續きの結果不作なりし趣きに輸出の好望なる爲め相場は非常の値を示したる

◉三倍以上の高値 ピースとの比較

◉皮革類活況 注文の行惱みに一部小資製皮者の到來せる者ありて危く一般同業に大恐慌を來さんとせしも皮革界も我我の交渉急劇り夫れぐ注文引受決定せると同事に意氣附大阪市場の如き昨今意氣天を衝くの勢ひにて軍靴用皮を初め其の他の取引にて市場の殷盛は今

京城正米 地方よりは未だ昨年なく地廻り米も今朝は弗々出廻り來りたれば氣配は格別變ほらず先づは持合ひに經過しつゝあり

南大門の廻穀 仁川玄米 三五〇叺 黑褐裸麥 四五〇叺 黑褐裸麥 六〇叺

利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話長九〇五番 電信略號送呈 二六二五 增殿

仁川現物市場 ▲糯入津少なし氣配は保合を唱へ居れり ▲正米入津百餘叺氣配は保合を唱へ ▲小麥入津約千叺氣配は依然保合を唱へ

釜山の市場 十二日 ▲正米(同事)本日は二百二十日の厄日にして大阪は雨の爲め期米は小一つ高りを呈せしも當地は未だに引換好晴なり而して當市場賣物は相變らず勘ながらされど買人なき事とて氣配は保合の必需品の補充買のみにして他に依り買人氣もなく保合閑事なり出廻り少なく午前中取引

總出來高 玄米 一千九百八十個 新小麥 一千六百四十六個 玄米 六個 大豆 二百七十個

仁川期米

▲十三日前場 大阪天候小雨 十一錢高の入電 ▲二節同事の後場 安移 大阪六節〇一錢

依然保合 市場零聞

日 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 支配人 電話二八二番 二八三番

大阪の小雨に上放 前場の手振 能く賣る 能く賣る

田中金六商店

仁川米豆取引所 十三日の十一月限

	前場	
寄付	一節	十一圓四十七錢
止め	二節	十一圓三十九錢
安値	三節	十一圓三十七錢
高値	四節	十一圓三十八錢
出來	五節	十一圓三十八錢

平均値段 九月限 十月限 十一月限 賣買取組高 一萬石 一萬八百五十石 十一萬四千六百五十石

▲今能く買ふ ▲能く買ふ ▲りの賣買 ▲尚展開せず ▲取組増加せん ▲腰入の愈据 ▲好個の戻反 ▲空前の新記錄 ▲腰入益深し ▲安神賣を敢行 ▲洪水に大打擊 ▲人氣の一變 ▲目先期米觀 ▲人氣は高潮に達し

星印ソース
いづれの御家庭にても ソースは星印を御使用です
全國到る處の洋酒罐詰食料雜貨店にあり
星印は品質及賣行に於て ソース界の明星なり
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

牛乳搾取販賣 朝夕配達 仁川牛角洞 岩本次郎 電話七六七番

米 期 大阪堂島米穀取引所仲買人 曽我商店

質 京城黃金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

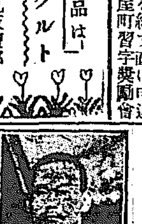
五龍背溫泉 新義州より汽車で卅分

長壽靈品は「ヨーグルト」 京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番 滋養と健康の母「荒井の牛乳」

● 大募集 官衙の證明援助ある五割益の事業を縣郡に特約し自轉車を給す直に申込あれ 東京市銀座南紺屋町習字獎勵會

ハカリ印 油斷大敵! かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである、之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。 大阪田口のヘブリン丸を ハカリ印のヘブリン丸と改稱

くすりは山岸 諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械 懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候 京城本町丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話


京城本町三丁目 吉田學明
人事百般鑑定需應す 鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓 鑑定時間 自午前九時 至午後十時 大日本陰陽學會朝鮮支部

熱心誠實に事務を取扱ふ 辯護士 從五位 堀池常作 事務所 大邱府南龍岡町

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 朝鮮銀行 振替貯金口座 京城 電話 支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾濱 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

十一日 夕著 十二日 朝著 夕發

十六日 同 十七日 同 十八日 同 十九日 同 二十日

十錢書籍券を呈す(但何書何號と明記に限る)

豫報

▲京城溫度 京城測候所 十四日正午 華氏七十三度六分 前日中最高溫度 華氏七十三度二分 最低 華氏二十三度八分

汽車
[illegible]

宮本武藏
第百五十八回
桃川如燕口演　浪上義三郎速記

此少年は何者かといふと元龍造寺和泉守隆信に仕へた山田又右衛門の倅同姓右衛門作といふ今年十八歳になる少年、主家滅亡の後父と共に天草島に引移つて世を忍んで居りましたが赤星宗伴大屋野松右衛門など、懇意にして居て同じく一揆に加はりました、少年ではあるが器量人で今富岡を攻め取つて之れに立籠らんといふ時に大勢の中から大音を擧げて、右『富岡城を攻める事は甚だ宜しく

ない、其故は城狭くして僅か二千三千の人數を入るゝに過ぎず、到底數萬の一揆老若男女之れに立籠つて天下の大軍を防ぐといふ事は出來ず、徒らに此城を攻めて時日を費やす時には江戸表より追討の大軍到着し、此戰甚だ難儀ならん其れよりは富岡は此儘に捨置き直ちに島原に押渡り、龍造寺和泉守の城跡、原山の古城を取立て、之れへ立籠るべし、此原の古城は非常の要害の地にして、岩石峙ち濫りに上る事叶はず、北に西南は漫々たる大海にして、東一方に當つて十五丁温泉ケ嶽の險阻あり、に道ありといへども坂急にして敵寄すれども容易に上る事能はず、高橋は石垣にて苔を生じ、隍は昔の儘にして乾の方に御殿あり、入海に續く小松山、仍ち昔の出丸の跡にて丑寅の方に當つては扇腹の要害あり、實に古今無双の名城、四萬五萬の人數籠ればとて少しも不自由なき大城、難攻不落と聞わたる大阪の城なりとも之には及はじと思ふなり、假令天下の大軍押寄來るとも何か恐れん只一戰の下に打破るに何の難き事やあらん、宜しく右の原の古城に立籠り勤めて日本六十餘州殘らず切支丹宗門となすべし』と大音に呼はつた、蘆塚忠右衛門之を聞いて忠『珍らしき少年の卓見、抑彼人は何といはるゝ人物か』赤星宗伴宗『那れなる少年は龍造寺の浪人山田又右衛門の倅右衛門作と申す者でござる』忠『天晴なる意見感ずるに堪へたり、然らば山田氏の意見に随ひ富岡の城は捨て置き、直ちに肥前島原に押渡り、原山の古城を取り立て立籠らん』と蘆塚の一言に随つて一同同意いたし、直ちに用意に及ぶ、山田右衛門作が右『私は元島原の生れで彼地には知己も澤山ございます、中にも深江村の吉田三平と原村の渡邊傳右衛門とは父の代から懇意にして居りま す、殊に近來領主松倉長門守の政事向が悪るく領分の百姓怨みを含んで居るといふ事、幸ひ島原の土民を煽動して一揆を起させ、天草島原の一揆合して事を擧げましたならば萬事に都合も宜しうございませう、私にお任せ下さらば島原に渡つて吉田三平渡邊傳右衛門を勸め島原領内に一揆の起るやうに致します』之を聞いて喜んだ蘆塚初め一同、忠『何分宜しくお願申したい』右『其れでは』と此の山田右衛門作が早速島原へ赴きまして深江の吉田原の渡邊といふ二人の大庄屋を勸めて遂に一揆を起させ此一揆を用ゐて松倉の役人が固めて居た原山の古城を乘取り、松倉の人數を追拂つて了つて右の趣きを天草へ知らせたのは實に大した働きであります、蘆塚を初め一同の者共大に喜び勇み、片時も早く島原へ押渡らんといふ、時に蘆塚が忠『山田右衛門作といふ人物少年ではあるが天晴なる器量此人こそ天の降せる奇寶ではないか、一揆の總大將にして勝るか しからん人物と思ふ、各々は如何か考へる』一同言葉を揃へて○『蘆塚氏の仰せの如く山田右衛門作なれば我々大將と仰いで異存はない、早々島原に押渡り山田右衛門作を大將として天下の大軍を引受けやう』と一同意見が合致した時に、後方の方から宗『アイヤ其大將とする者は他にあり』と呼はる聲がする忠『何者なるか』と振返る途端に宗『毛利宗意軒只今其れへ參上いたす、拙者の倅ふ少年こそ仍ち天の降せる大將、夢々異論を挾み給ふな』と襖をサラリと引明けて一人の少年の手を取つて立出でた、此少年こそ別人ならず益田四郎時貞であります。

廻讀會員募集●新古書籍交換　圖書雜誌賣價　規定目錄進呈　振替京城三九〇四
京城本町一 電二三七八 松榮堂書店

遊漁具■投網
四分目長二尋鉛君九百匁付極上麻糸製七圓五十錢　綿糸代用アヤ糸製六圓五十錢　カタン糸製六圓　其他目の大小網の長短等種々有之候
釣道具　投網製造　卸小賣
京城永樂町二丁目　吉備商會
其他漁具　監獄署製品販賣所　釣道具一式　地方特約店募集

九月十五日九星
舊八月十八日乙卯
本命六白　乾　破　先勝

▲六白● 稍々ヶ敷事有日諸付て新事見合　南方は吉 ▲七赤● 求職建築金談婚姻納等吉 ▲八白● 萬事利多き日　轉居　行商入門　名弘　求職金件出　漁建前婚禮　入組りよき日　轉居入學求 ▲九紫● 望調の事有日新事手控の和を計る等萬吉 ▲一白● 萬事は吉　衛生に注意せらるべし　優美の日轉居入學等皆吉　女子の部外に良緣を得る類 ▲二黒● 有益の日轉居旅行入學る振ふべき日也　名弘棟上求職金談婚禮鑛山業等萬吉 ▲三碧● 萬事は吉萬時に誠を要する日新事手控 ▲四緑● ふとだまさるゝ新有日新事手控　萬事は吉女子は一層用心せらるべし ▲五黄● 撮の日轉居旅行入婚名弘建築求職婚禮大なる金融を計る等萬吉

わきが
▲秘密安全自宅療法▼
わきがの爲めに其人の成功を妨げる例は少くない如何に天才の人でも又は艶姿花の如き美人でも一度本病に犯さるれば之れに接する人は其異臭を嫌ふて接近を好まず交際場裡より自然排斥され婦人の如きは婚期を逸し或は離緣の不幸に至り悲嘆の涙に暮れる人もある之が根治法を發見に苦心した本郷順天堂發表の化學療法は秘密短期に自療し難症にも大効あるは數多根治の感謝狀に依て立證せらる御困の方は直ちに東京本郷西竹町本郷順天堂宛申込み説明書を無代送附を受けられよ

良職業あり
高尚有利の事業なり今回大に地方支部長を募集す返信料參錢相添へ至急申込あるべし直に採用し規定書を送る
東京市芝區愛宕町二丁目十四番地　帝國法律普及會
説明書は往復葉書にて申込次第進呈

十二指腸病
大邱府東城町　水田藥院　電話四六三番

京城龍山元町二丁目　舊民團前（電話一七番）
杉本齒科醫院
齒科醫學士　杉本　蔚

らんそうで病
◎はらにカタマリ◎らんそうイタミ　お困りの人はハガキで申込め効力正しき良藥無料詳細
兵庫縣明石東本町　長井家

瀬戸外科皮膚科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

●ズンキク　實に妙用は判直試　服藥英氣増し精力盛となる
陰萎　早漏　健忘　氣鬱
効顯不言　男女とも壹劑用よ効力著大實證多し
滋強丸

產婆 並に看護婦 生徒募集
●入學期十月四日●規則書郵券二錢
長崎市磨屋町　私立　長崎產婆學校

古錢
いろは別古錢價格表定價廿錢送料二錢　入振替阪六百餘種拂一〇二〇番
發行所　大阪松屋町博物北　家村書店

化りん病藥壹週分普武圓特製參圓　小包料拾武錢引換廿壹錢。
柳專門藥房
病●近來東京其他各地に僞ドラッグあり物に付御買取の際御注意を乞ふ●詳細は本月四日の本紙を御覧
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會　本部
電話四二五六七番　振替京城四六七番　藥品に有田製鑑なき物は凡て僞

攝津灘　大塚釀造所吟製
京城本町二丁目　發賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五

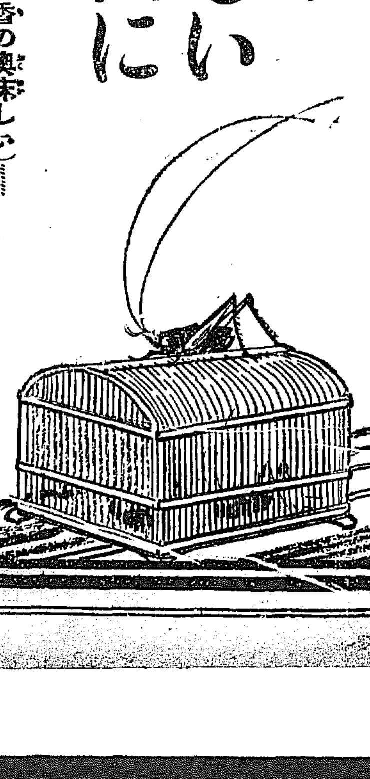
ニほまれ味噌
製造元　日本醬油株式會社京城出張所

美味ヲ以ツテ好評アル
林檎と梨
朝鮮鳥致院
弘益殖產株式會社農場

九月
白露や　夜となりてより美くしき
清い美くしい秋のお化粧に
ピッタリと適ふ……（其上芳香の奥床しい）……
レート白粉
殊夏に六ケ敷初秋のお化粧

樂に出來るレート白粉

新東京式お化粧料として瀟洒と上品に最も清い秋に適はしいお化粧の出來るのはレート白粉で、殊に秋はお化粧が六ケしく、落附が悪くてお化粧栄えが致しませんが、レート煉白粉は、落附きのよいのは勿論、決して化粧崩れのせぬ特長がありますから、附けて氣持よく、思ひのまゝのお化粧が出來ます。そして粧上げて艶がありますから、何とも云へぬ奥床しさがあつて、見違へる程美くしく上品になります、全体秋は夏に荒れた肌の後ですから兎角白粉の悪い時で御座いますから、有觸た白粉では決してお氣に召すやうなお化粧は出來ません。レート白粉なら安心です。お請合致して置きます。



東京　平尾賛平

京城日報
第三版
十四日朝刊(夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金六拾五錢
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
電話 [illegible]

仁川米豆取引所 [illegible]

▲依然保合 天候好轉で明天大阪の下落寄附安を受けて十二圓三十二錢と寄付たるが賣氣旺盛の人氣は忽ち三十錢と叩きたるも其他より買物現はれ㊦全三錢と踏れ返し [illegible]

▲後場の手振 [illegible] 各三千餘石賣に對し買方㊦六千餘石 [illegible] 各二千餘石にて他は小口商內であつた

▲㊦の商內 後場同店より買ひだる三千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲[illegible]く買ふ [illegible] 大に買ふべき現象にて如何に取引の發展向上しつゝあるかを窺知するに足る者あらん [illegible] 引所高歲 ▲後場 先限㊀十二圓一錢三十錢一毛 [illegible]

奉送

京城日報

聖旨を奉戴して、露國帝室御訪問の、閑院大將宮殿下に於せられては、十一日東京御發輦、十三日釜山に御上陸あらせられ、直に露都に向はせ給ふ。申すまでもなく、今回の露國御訪問は、露帝が軍國多事の際にも拘らず、グオルギー太公殿下を御名代として、我皇室の御大禮を慶賀せしめられたる、其の御厚誼に答へさせ給ふものなるは、吾人の拜察する所にして、兩皇室の御親善を、表證し奉り、洵に遺憾なしと云ふべく、吾人臣民、亦誠に慶賀に堪へざる也。殿下は、皇室の懿親におはし、夙に軍職に就かせ給ひ、御威名御高德共に、並び高きのみならず、日露の國交には、特に意を注がせ給ひ、日露協會には其の總裁とならせ給ふ。されば先般、グオルギー殿下御來訪の際にも特別の御交誼を訂せられ給ひたれば、露國皇室も、露國々民も、等しく殿下を迎ふるを光榮とし、欣幸となすは、吾人の竊に之を疑はざる所也。

日露の國交は、年に月に增進し來り、露國太公殿下の、御來訪を新紀元として、殆んど同盟の關係に入り、皇室として、又た國家として、益々親善提携の、新局面を開拓し來りたるは、兩國々民の獨り欣幸とする處のみならず、東洋平和の爲、洵に至慶至幸なりと云はざるべからざる也。殊に東部戰線に於ける、露軍の勝利に會しては、兩帝室間に祝電の御交換を見、日露協約及び、日露貿易に關しては兩國政府者及び兩國民間に、接近交涉理會信賴の、機會を頻繁ならしむる今日、殿下の御訪露は寔に是れ、日露親交史上、更に紀元を劃せるものと恐察す。吾人は今日殿下を送り奉るに際し、謹で御一行の平安を祈る。

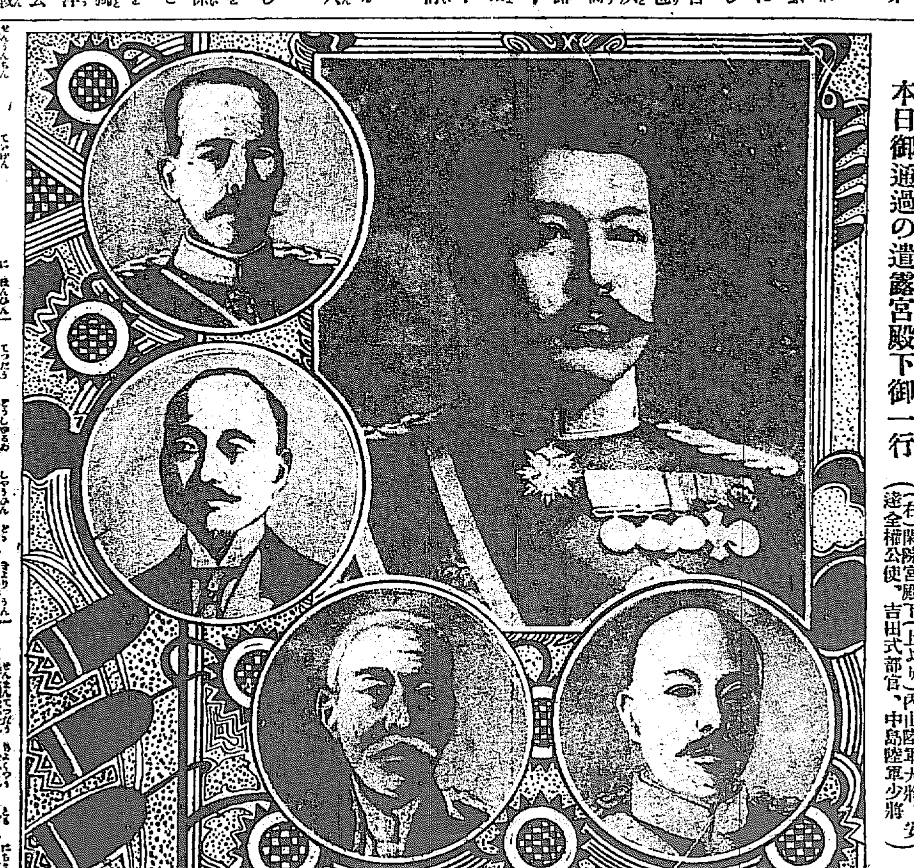
三線聯絡運賃問題(三)

經濟研究會に於ける 鐵道局和田參事口述概要

三、本制度反對論の當否

玆に本制度に對する反對論者の主張を列擧して之れが當否を見るに、曰く、本制度は滿洲に於ける各國商民の機會均等を破壞すべし。若し安奉線運賃のみを低減するとせば日本品の輸送に便宜を與ふることゝなるを以て、外國品に比して日本品の運賃を低下すると同樣の結果を生ず、殊に該制度を大連線及び安奉線のみに適用し營口に適用せざるは不條理にして外國より抗議を提出し來ること必せりと

機會均等なる用語は、近年支那に關する外交上の交涉に付屢々使用せらるゝ處にして、日英協約、日露媾和條約、日佛協約及び日露協約等、孰れも此の文字を用ふるも其の意義に付ては或ひは門戶開放と同一の意味なりと云ひ、或は別箇のものなりと說明する者あり。鐵道學者間の解釋一定せざるも、鐵道輸送上の機會均等に就ては各國の承認を經たる千八百九十九年の米國の宣言中に、滿洲其の他に於ける鐵道が同種類の商品を同一距離運搬する場合には、自國人に屬する商品と他國人に屬する商品とを問はず、同一の運賃を徵すべきものなりとの趣旨を明記し居れり。是れ自國品と他國品との間に差別的運賃を課するを禁ずるの意にして假令安奉線運賃を低下するも、同線通過の日本品及び外國品に對し同一の運賃を課するに於ては、何等機會均等に反するものと謂ふべからず。固より安奉線を通過する貨物の多くは、日本品なるの事實は之れあらんも、安奉線運賃の賃率を他の徑路に比較して低下せむとするものにあらず。大連線と同一の賃率と爲さむとするに過ぎざるを以て、何等抗議の餘地なく、安奉線通過貨物に日本品多きは、同徑路に對し日本が他國に比し地理的に有利なる地位に在るが故にして、之に對して異議を唱ふるものは地の利を得るの不當を攻むるに異ならず。又獨り營口を除外すれば不當なりと謂ふも、元來安東は鮮滿鐵道の直通と共に日滿交通に付ては其の海港たる資格を喪失せしものにして、該制度は當然釜山に延長せらるべきものなるも、只其の距離長きに失するを以て各線賃率の權衡上、大連線との距離に比例せしむるの程度に止めむとするものにして、海港運賃の主義より見るときは、安奉線運賃は本制度に依るも尙高きに失するものと謂ふべく、既に海港運賃の制度を認容する以上斯の如き抗議を唱ふるは甚だ謂れなき處なり。



本日御通過の遣露宮殿下御一行 (右)閑院宮殿下(上より)内山陸軍大將、安達全權公使、吉田式部官、中島陸軍少將)

國境より

奇岩の宿舍にて 文哉生

二日秋朝駒を五國城に溯り申候、會寧を距る四里餘里、周二里に足らず、圖們江を下瞰し雲間二字の碑は中央の畑中に橫はり居候、宋徽宗と申候へ居候も勿論否定論者も多き由に候、是れ碑の完璧を怪み後人の贋作と爲すものに有之候、小生は之れに對し下の如き臆見を抱き申候、即ち宋の亡臣等徽宗の寃を憫み二字を刻し城隅に留り石を沒して去りしものに非ざるかに候、其の理由は文字雄渾にして鮮人に此種の工夫家なきと、雄書の此の風采を指て見ざること、其の一徽宗鼠を此の地に避けんとして志を得ざりしこと或は可有之、而も此石に隨して書したりとも千鈞の石鄭して後送り來しとも想像し得ず、文字の餘りに石の形に適して書かれたるの手腕の凡ならざる事之れ其の二にて鏡見之に對して果して如何に候や、左に口占二首書き仕候

弔五國城

顏壁蓮池伏守兵、野花飛魄白風輕、千年欲弔秋高處、立馬雲頭(一名日雲頭城)五國城。
蒼然化石弔帝徵(雲閒二字碑今尙存)僞日宋徽宗所書)圖們空流人不歸、苔壁慘分千載下、雲頭此日白雲飛。

回門司より東京へ 台水

□門司
掛出しの座敷連ろ浴衣干す
□船中雜感
殘暑の風船の日覆を煽る
去ぬる一家と見ゆ浴衣にて步行く
窓閉ぢて妻は終日汗をかく
食卓掛の眞つ白に似ず蠅が
浴衣袖よれ潮風强し
□宇品港
ランチで迎に來たり扇翳く
□廣島驛前長沼支店
梨籠に鳳隨きしを電報書く
□汽車中雜感
道の花咲く轍の埃
妻は梨買ふ右は海なり
汽車留り一寸跡戻りラムネこはれる
淵紅を讀み終ぬ靑柿に照る
雲間の富士稻の穗出揃ひたる
眼鏡のほこりよ案山子の背高
水車遲々と豆柿熟るゝ
登る遲き汽車に七草數へたり
山北午三人分の鮎すしを食ふ
□我家に歸省す
二年前建てし廐に虫の鳴く

日報歌壇

■本間華月(京城)
何がなし分らぬものが心の內に密かに入り來て罵しる如し(笹尾博士の講演)

■鈴木古都子(京城)
いついづこなりしか忘れぬあまりにも美くしければ拾ひ來し埴
無禮にもよそ人きたり我が心裏より覗き樣々に云ふ
葉洩り月われ遠方の人戀へる胸にしらしら銀の刺繡する
思はじと誓ひ自ら欺むきぬ忘れな草をかざしなどして
わが泣くをいと冷やかにみて行きぬ灯ともし頃の初秋の風
我が夜の文机に來て靑き蛾のひとり眠れる秋のかなしさ

■高須賀燦(京城)
赤し〳〵庭のダリヤはいと赤し君が思ふ事みちならぬかも
寢ころびてふと掌にのせし小砂にも冷たき秋を覺へたるかな

株式名義書換停止公告
來ル十月一日ヨリ定時株主總會終了ノ當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス
右定款第十八條ニ據リ及公告候也
大正五年九月
朝鮮郵船株式會社

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
◎動物學講義	石川千代松	三五〇
◎情話叢書第一輯	櫻庭米子	四五
◎南進策と小笠原群島	山田毅一	一二〇
◎漢文譯	山縣悌光	六五
◎時は過ぎゆく	田山花袋	一二〇
◎牛(嗚天寛)	岡本米藏	一〇〇
◎乃木大將	山路愛山	八五
◎綴方新教授法の原理	駒村五咏	一三〇
◎朝鮮鑛業要覽	朝鮮鑛業研究會	一二〇
◎朝鮮語學捷徑	佐藤篠堂	五〇
◎英和中辭典	井上十吉	一三〇
◎朝鮮鐵道旅行案內	朝鮮鐵道局	七〇
◎民法總論前編	松山一郎	六〇
◎物權法前編	橫田秀雄	六〇
◎行政法全二冊	島村他三郎	一二〇
◎海商法論全二冊	市村富久	一二〇
◎保險法論	栗津清亮	六〇
◎手形法論	須賀喜三郎	六〇
◎商法總論	志田鉀太郎	六〇

京松堂書店 京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四五番

正氣堂名刺舖 京城本町二 期日正確送料無料 電話二一九五番 振替京城二三八三番

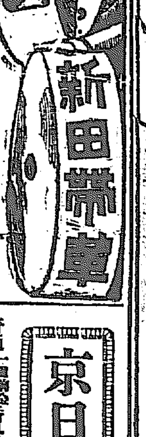
新刊書御案內

書名	著者	定價
◎眞宗全史	村上專精	三、〇〇
◎櫻井忠溫第六卷日記及消息縮刷		一、五〇
◎南進策と小笠原群島	山田毅一	一、五〇
◎時は過ぎゆく	田山花袋	一、二〇
◎學力測定自療寶典	富士川游也	五〇
◎日本住宅と諸什器取扱法	杉本文太郎	二、〇〇
◎漢文譯	山縣悌光	六五
◎成金物語	千原伊之吉	一、四〇
◎株式閑話	五十嵐力	一、二〇
◎夜の露臺	竹久夢二	九五
◎坐禪指南	芦津實全師	八〇
◎啄木歌集	石川啄木	七〇
◎男讀むべからず	丹いね子	七五
◎大ナポレオンの妻	永代靜雄	六〇
◎雜音の中	土岐哀果	六〇
◎分數の新らしい解き方	曾我人	五〇
◎絕島探檢十五少年物語	葛原女屋	五八
◎受驗必携法律講義	坂上綱吉	特七五
◎同 法律問答	同	四〇
◎同 朝鮮行政法規大意	安達大壽計	四〇
◎同 會話譯文速成	同	四〇
◎同 作文軌範	同	四〇

大阪屋號書店 京城本町 電話六八四、二〇八六 振替京城二五七三

寫眞機 寫眞材料
京城明治町二丁目 長崎屋商店 電話二一二〇番

高島易斷鑑定所
京城本町三丁目(郵便所筋向) 田村照德
謹啓私儀是迄明治町に於て從事罷在候處今般都合により前記の處に移轉仕候就而は特に移轉披露として一個月限り鑑定料御任意に申受候間續々御鑑定御申越相成度候地方は前同樣御返信料添へ御申込次第迅速明瞭に御回答可申上候敬白



帶革各種
パッキング
ピッカー
生皮齒車
綴革組金具
其他工業用諸革
品質保證在庫豐富
朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目
定價表御一報次第送呈

鑛山營業
各種鑛石買入
重石買入
▲鑛物定量分拆 ▲鑛山測量製圖
京城鍾路二丁目九十九番地 金石商會 電話一八九九番

日韓書房 新版報告
葛原曲著 絕島探檢 十五少年物語 定價五十錢 送料八錢
朝鮮總督府 普通文官見習雇員試驗問題及解答 定價六十錢 送料六錢
岩崎直子著 安産のしるべ 定價九十五錢 送料十錢
花田甚五郎著 新潮を汲める綴方の教授實際 定價七十五錢 送料十錢
池邊鐵田著 校定源氏物語詳解一帙 定價一圓二十錢 送料廿二錢
京城本町二丁目 [illegible]

蘇峰學人解題 市川鶴鳴原著
帝範臣軌國字解
三六版布裝 二百五十頁 定價五十錢 郵稅四錢
抑も帝範は唐太宗貞觀二十二年、帝親ら撰して太子に賜へ、以て帝王の儀範を垂示し、臣軌は則天武后垂拱元年、后自ら撰して人臣の軌法を示したるものにして。倶に是れ盛唐帝后の親製する所に係り、後世範軌を示し、双稱して君臣鑑戒の明鏡と稱するもの、洵に所以ある也。而して此の國字解の特色は、其の解釋簡明精確にして、而も要領を得たるは、鶴鳴其人が獨自の識見を以て、其の解釋を日本化したるに在り。之を一讀すれば胸裏萬卷、千古の通儒の講義を聞くが如く、卷中の深旨與義は洞然として悟入し、眞に一唱三嘆の妙あり。特に卷首には蘇峰學人の解題あり、帝範臣軌の來歷と、國字解の特色と、鶴鳴の爲人とを詳說して餘す所なし。本書は單に帝王爲政者の鑑たるのみならず、何人と雖も必ず一讀すべき典籍にして、明窓淨几の上、以て通俗國民讀本と稱するも過當に非ず。是れ可き良書也。
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三〇〇〇番
大賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

明治公債株式會社朝鮮支部
▲外務社員募集
京城府東拓會社隣 電話一九〇八番(振替京城二五五〇番)

金丸の鐵砲でこの通り!!!
新荷着 (獵銃、獵具、火藥、散彈、其他全備)
橫濱市本町 合資會社 金丸銃砲店
(獵銃定價表郵呈)
電話一五五番及六五三番 振替口座東京四七一番

◎眼鏡新荷著廣告
米國製 正金張三種 獨乙平凸玉サック付 甲三圓五十錢 乙三圓 丙二圓二十錢
純ニッケル一種 逸凹 一圓二十錢 但し前金
◎地方より御註文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候 に限り送費無料
京城本町一丁目(郵便局前) 中村時計店眼鏡部 電話一一七番 振替口座京城三四六番

京日案內
普通三十錢 番外六十錢 [illegible]
▼申込後中止掲載中止の節は料金返戻せず

普通
◎男女外勤社員募集 希望者は毎日午後來店の事 京城太平通二丁目三二六 電話二八三一 商業銀行債券部 223
◎有給外交員及派遣員募集 希望者履歷書携帶本人來談あれ 櫻井町一の七三 日鮮圖書普及會 224
◎最大讀波純スパニール種猫 [illegible] 分娩經驗あり希望者に至急讓りたし (姓名仁川支局) 227
◎中學商業出身年卅一歲堅實なる會社商店に奮闘的希望勤務市內確實なる保證人有御報次第參上(姓名在社) 226
◎看護婦數名至急募集す希望の者は自筆履歷書携帶來院の事 寅金町二丁目 朝鮮實費診療病院 225
◎朝鮮人文撰工二名入用 京城旭町一丁目 中島印刷所 220
▼中學校 商業校 古教科書買受 本町二 ウツボヤ書店 165
二噸チンブロック格安にて賣却す 御望の方は電話一八五五番へ御問合を乞ふ 229
◎松汀里光州間自動車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す ▲光州加藤自動車運輸部 205
外務員入用 自午後四時至六時要來談 若草町二八八 文福堂
◎馬山浦所在宅地四千坪並洋風建物安價にて賣りたし (姓名仁川支局) 125
◎貸家 京城鍾路目拔の場所商店向き電話電燈水道付(姓名在社) 203
◎古本熱心高價買入△御報參上 ◎是非御試買を乞ふ△本町四 ◎電話二七八一番△書肆群書堂 211

番外
本町勸商場內 男女販賣人 半ゑりひも類經驗有者至急入用要保證人 219
◎難病患者は御通知次第出張す 電話六五九番へ 灸術專門開業 壽町三十五番地 萬壽堂
下りはらには 京城明治町小川溫知堂の 健胃整腸散に限る 228
◎外交員募集 男女各二人報酬は成功報酬詳細面談 開城大和町八十七番地 日本生命保險株式會社開城代理店 218
店員入用 年齡二十五歲以上にして是迄重石經驗ある者雇入たし但し確實なる保證人二名を要す(姓名在社) 190
◎京城春川間行自働車賃金片道四圓 每日午前八時出發 京城大門通 南一丁目 電話二一九番 春川 京春 廣橋自働車 主務 金正淵 195
恩給年金即時立替月利壹分何年分でも御相談 京城若草町百六番地 若草町停留場入口ポスト前西入一丁突當り 西村商會 150
質 大勉強 確實誠意 永樂町一丁目商品陳列館前チヨツコン下る 秦 170
藥學講習生募集 夜間教授 九月三十日迄に申込まるべし規則書は市內各藥店に配附せり 黃金町三梅鶴方 事務所 藥學講習所 209
賣藥店及び化粧品店至急讓受けたし(姓名在社) 214

◎鄭家屯事件支那側の主張

十一日日支交渉談判は主として事實の對照を爲し要求に關する具體的協議は進行せざりしが支那側の主張は本件は日本にも誤れる點あれば片務的にせず双方互角の態度を以て協議し度しと謂ふにあり支那側より二三注文ありしは之が爲めなり（北京特電）

◎鄭家屯事件交渉と米國 日本の對支要求の報道に驚く

華盛頓來電に曰く、駐日米國大使ガスリー氏は米國々務省に報告して曰く日本政府は鄭家屯事件に關する對支要求に關し米國大使の質問に答へ該要求は支那の主權を侵害する事なしと云へりと猶國務省は華盛頓にて發表せられし日本の對支要求の報道は米國政府を驚かしめたる旨をガスリー氏に通告せる事實を發表し同時に該報道は全然無根の流說なる事明白となれりと附け加へたり（東京特電）

◎露國の抗議と支那の回答 外蒙議員非常に激昂す

十一日參議院の秘密會議に於て外交部員は外蒙古議員に關する露國の抗議に對する支那政府の回答として外蒙古は支那の聯治なれば議員選出は當然なり唯現在の外蒙古議員が實際資格あるや露國の主張にも理由あれば憲法制定後何等かの處置を執るべしと云へる旨報告したれば議員等は非常に激昂し當局の軟弱を非難し居れり（北京特電）

◎龍濟光印綬を讓る 廣東問題之れにて一段落を告ぐ

龍濟光は十日督軍の印綬を朱慶瀾に渡せるが朱は二週間內に入城の筈なる陸榮廷の到着を待ち之を渡す筈なり龍は曩に得たる四十萬元をもちて部下五千名を連れ海南島瓊州に駐屯すべく殘餘の兵は暫時陸榮廷の部下とし徐々に解散の筈なり之にて廣東問題も一段落を告げたり（廣東特電）

◎勃軍全線に亘りて敗戰

倫敦來電＝非公式に傳へらる、所に據れば、勃軍は全線に亘り夥しき損害を被り今や聯合軍に追擊せられて退却中なり（紐育電報）

◎マセドニア佛軍攻勢に出づ

巴里來電＝佛國公報に曰く、マセドニアに於て佛軍は攻勢に出で幅二哩奥行八百碼に亘る勃軍陣地を占領せり（紐育電報）。

◎英軍横斷

巴里來電サロニカ公報に曰く、英軍は敵の砲火を冒してオデアックよりセント、ルームを横斷しネウオルゲン及びカラザコイの二村落を攻擊したるが敵は同地を死守し居れり（倫敦電報）

◎希國首相辭表

希臘首相ザイミス氏の辭表は遂に聽許されたりとの報あり（東京電報）

◎獨逸減食

アムステルダム來電に曰く、獨逸食料分配監督官バトッキは一般割當食料額を減少したる非難に答へて世人は本年の收穫が著しく豐富なるべしと誤り想像し居るも之は勞働者肥料糧食不足の爲め不可能なりと述べたり目下伯林にては一人に對し肉半斤馬鈴薯九斤なりと（倫敦電報）

◎伊艦爆沈

羅馬來電に曰く八月二日伊國戰鬪艦レオナルド號は艦上爆發起りて沈沒し將校二十一名士卒二百二十七名即死したる所報發表されたるが同艦は浮揚の望ありと（倫敦電報）

◎群山客月經濟

朝鮮銀行群山支店調査

…して好順氣を醸はる…に至りしを以て奥地の團米は再び姿を現し…商所謂天候次第の相場なれば前途を氣遣ひ受注文に乘らざれば手出し…り難き趨勢…硬調を示したりしも…移入側は…前のことゝて各品共に…況…增加したるも要其他作物の減收…不需要旺盛にして市價昂騰を續け…玄米十二圓六七十錢上米十三圓を突…は十八月中少量の必要向移出ありたるに過ぎず牛皮は軍需品向として人…は例年に比し不…況にして其他石油マッチ砂糖明太魚の如きも格別に目…中岡本節太郎氏は辭任し次點者平松氏之れに代る事となりそれ〴〵當選…通知中のところ此の程に…く大工も到著し數日前より既に地均し及び基礎工事の進捗しつゝある一大略切込みを終りたる…

◎驅逐艦進水式

驅逐艦時津風、濱風は十五日頃進水式を擧行す可し（東京特電）

◎民間募債力豐富

民間に於ける內債及び外債に對する應募能力は餘地猶頗る豐富也（東京特電）

◎總督と乃木神社

寺內總督は乃木神社正遷宮式典に臨めり（大阪特電）

◎手島校長光榮

東京高等工業學校長手島博士に對し工業教育に於ける功績を思召され十三日左の如く勳章を授の御沙汰ありたり（東京特電）

東京高等工業學校長 從三位勳二等工學博士 手島精一
敍勳一等授瑞寶章

◎井上密氏逝去

前京都市長法學博士正五位勳四等井上密氏は豫て病氣中の處十三日終に逝去せり（大阪特電）

記者曰く 氏は千葉縣士族富坂晋治氏の三男にして慶應三年十月二日を以て生れ後亡井上義行氏の養嗣子となり明治三十二年十二月家督を相續す同二十五年帝國大學法科大學を卒業し大學院に入る同二十九年憲法國法學及び行政法研究の爲め英佛獨に留學同三十二年歸朝京都帝國大學法科大學教授に任じ同三十四年法學博士の學位を授けられ同三十九年同大學長となり同四十二年歐米へ差遣せらる大學長を免ぜられ同四十三年六月歸朝大學教授の職に在りしが後推されて京都市長となり幾ばくも無く病を得て辭職せり

◎松方侯

那須野の別莊に在る松方侯は十五日歸京の筈（東京電報）

◎在露鮮人教育

在哈爾賓帝國總領事館管下に居住する朝鮮人は其の數尠からざるが頃來是等鮮人間に子弟教育の爲め私立學校設置の議あり其の希望を領事に陳述せしより佐藤總領事代理は之を諒とし其設置經營に關しては總督府の援助を得度き旨外務大臣に申達せる結果、過般同大臣より相當援助ありて度き旨を總督府に移牒し來りしを以て學務局にては普通學校教科用圖書其の他各種の參考書類を送附したり因に同私立學校は經費年額一千四百留の豫算にて之を私立哈爾賓普通學校と稱し修業年限教科目及び教科課程は大體朝鮮の普通學校に準ずることとし近く開校の筈なりと

◎代金引換輸送

十月一日より實施

鐵道便に依る運送荷物に對しては從來荷主は一般に荷爲替の方法により資金の運用と安全とを計り來りしが小口荷物又は金融機關の設備なき地方に在りては此方法に據る能はざる爲め代金引換郵便又は集金郵便等に僅に其缺陷を補ひ居たる狀態なりし爲め商取引上遺憾の點多かりしが鐵道局にては之が不便を除去せんが爲め救濟策として是等の運送荷物に對して十月一日より代金引換の方法を實施する事となれるが其要點は

一、荷物引換證發行のもの及び冨別紙、動物、生鮮魚、鮮肉其他腐敗し易きものを除きて通常小荷物、易損品、貴重品第一種及び第二種並に普通貨物、特種貨物中車輛類は其托送荷物と代金との引換を委托する事を得

一、引換代金の金額は一口に付千圓以下とし錢位未滿の端數無きものに限る

一、代金引換荷物受托驛は左の如し

釜山、草梁、馬山、密陽、大邱、倭館、大田、鳥致院、平澤、水原、永登浦、龍山、南大門、開城、新幕、沙里院、黃州、平壤、新安州、定州、宣川、新義州、仁川、論山、江景、裡里、松汀里、羅州、木浦、群山、鐵原、元山、鎭南浦、新義州荷扱所

一、手數料左の如し

代金引換	手數料
代金二十圓迄	八錢
同三十圓迄	十錢
同五十圓迄	十五錢
同百圓迄	二十錢

同百圓以上は百圓未滿五錢宛を増し店引換の委託ある場合に於ける手數料

代金二十圓迄	十錢
同三十圓迄	十三錢
同五十圓迄	二十錢
同百圓迄	廿七錢

同百圓以上は百圓未滿毎に…錢増し

◎慶南稻作豫想

本年慶尙南道に於ける稻作は最も好況にして第一回豫想の如く一割以上の增收ならん昨年の慶南總收穫高は玄米百四十四萬二千六百六十石なりしが本年の第一回豫想は百五十七萬七千九百九十石にて之は前月の水害損害見積を除きたる豫想なりしが其後水害の復舊したると天候の快復したる爲め第二回は百六十五萬石即ち十萬石計りの增加を見たるも又々今回の降雨にて以前の水害よりは悪影響を被るべく其は前には苗禾の浸水に止まり居りしが今回は花盛の時を襲はれたれば結實如何と思はるゝ故に收穫豫想は第一回を以て見當とすべきなり而して慶南十九郡の內尤も好作柄として豫想されたるは昌原郡十五萬三千石、陜川十二萬石、晉州郡十一萬石、泗川七萬八千石、山淸郡七萬石、咸陽郡七萬石、居昌郡八萬石、密陽郡十萬八千石等にして何れも前年に比し一割乃至一割五分の增收見込なるも一般的稻禾の上出來なれば結局は入不足とならん事を憂慮するものあるも昨年よりは幾分の增收は疑なかるべし

◎商船校設否認

近時地方新聞其の他の中には總督府に於て商船學校設立の計畫あり明年度豫算には之れが經費を計上せるが如く傳ふるものあるも當局に付き確むる處に依れば商船學校の設置に對しては總督府として未だ計畫の定まれるものなく從つて來年度豫算に其の費用を計上せるが如きことなしと

◎文永間鐵道

文川永興間鐵道は其後雨水の爲め一度竣成したる線路數箇所は列車不通の程度に障害を來し現業者は殆ど夜晝雨の別ちなく復舊工事に努めつゝあるを以て線路は數日間に全部復舊の運びに至るべしと、因みに線路新設驛間に於ける里程は文川驛より龍潭驛まで九哩四分、龍潭驛より高原驛に至る四哩七分にして高原驛より永興驛間は七哩七分なり（元山）

◎恩賜製絲の輸出

京畿道恩賜製絲場の製造にかゝる紺絲は本月初め第七回分として約五百斤の輸出を行ひたるが更に近く第八回分として前回と略同數量の生絲を輸出すべく目下準備中なり市場に於ける生絲相場は十二日に於て信州上一番の標準絲千百六十圓の呼値あり前月來に比し約二十圓の下落を見たれども從來製絲場より輸出せる生絲は標準絲よりも數等上位の價格を維持し居れば無論今回の分も上値にて取引せらるべき見込なり

◎慶北春繭販賣成績

慶北道廳最近調査にかゝる管內本年度春繭販賣成績は總石數八千百五十石總價格三十三萬八千九百七圓にして此內共同販賣に依れるもの五千二百九十石價格二十三萬四千六百四十二圓にて管內各地を通じ最大取引量は大邱の一千六百七十九石價格七萬七千二百九十五圓最低は淸道の十八圓三厘なり而して右の六十五圓六十一錢三厘に平均して…

◎咸北馬匹輸入盛況

近來北道對岸支那領露領より馬匹の輸入盛況を極め七月頃より今日迄の輸入額は數百頭にも數ふべき模樣なるが斯く增加の原因とは（一）甲山銅鑛運搬用（二）國際運搬具としての二途に使用され二は近來の如く國境方面牛疫の發生頻々にして其都度牛商の交通を杜絶せられ通商貿易上阻害少なからざるを以て寧ろ馬匹を使用して之が運搬具たらしめんとするものにて近來國境方面には運搬具としての馬匹使用著しく增加せりと

◎大邱附近の莨作

大邱を中心とせる附近莨耕作狀況は大に悲觀され慶尙南北に於て總收穫十萬貫を以てさる可しと豫想されたるが民間耕作者中にも比較的早く植付を了したるもの近來の天候豫期の如く…

◎仁川瓦斯發起人出頭

仁川瓦斯株式會社發起人に對し十一日保官署より出京方申達し來りたるに付發起人中より白神、村谷、和田の三氏遞信局に出頭し全般の事に亘りて質問に應じ說明する所ありたりと（仁川）

◎仁川經濟會例會

仁川經濟會は鈴谷幹事の歸任せるを機として月並例會を不日開催する筈なるが同例會に附議せらる可き議案は會長選擧の件及び決算報告の件等なりと（仁川）

◎島津合名會社許可

慶尙南道密陽郡密陽島津澤右衛門氏外三名にて設立申請を當局に提出しゐたる島津合名會社は今回其設立を認可されたるが資本金は五萬圓にて目的は穀物及び肥料海產物販賣金錢貸附及び農事經營等なりと

人事消息

▲三浦周行氏（京都帝大文科教授文學博士）十四日朝入京龍山（援宿の豫定）
▲佐々木藤太郎氏（慶南道長官）閑院宮殿下奉迎の爲十二日夜釜山へ出張
▲末田新松氏（海州農學校長）十三日夜入京稲葉館へ
▲梅野實氏（三菱社員）同上天眞樓へ
▲太田正弘氏（商銀社員）同上朝鮮ホテルへ
▲藤田嗣造氏（實業家）同上
▲高橋長秋氏（百三十銀行員）同上
▲飯島精介氏（古川鑛山員）同上
▲ハウキンス氏（米人）▲マーストン孃▲プレスター孃（以上米人）同上

◎北鮮軍隊演習者

北鮮部隊の本年秋季機動演習は十月六日より五日間輸城平原に於て大村旅團長統裁の下に擧行さるゝ筈なるが同演習に參加すべき咸南步兵第七十四聯隊は來月二日より四日に亘り東北の筈也

◎郵便局長異動

遞信局にては九日附金州鎭城外八郵便局長の異動を行ひたるが全州郵便局長中村三之助氏は監理課監察係勤務を命ぜられたりと

◎立花中將へ記念品

警務總監部、憲兵司令部員一同より立花前總長に贈るべき記念品は十三日午後大橋高級副官總代として龍山師團長官舍に至り贈呈せり

◎鮮銀營口支店 十五日より開店

朝鮮銀行にては既報の如く營口に支店設置の件に付當局に申請すると同時に諸種の準備を進めつゝありしが十三日總督府より支店設置命令到着十五日より開業の事に決定せり場所は營口上新廟街にて店長其他は十五日任命すべく因に新設用務を辦ずる爲め榊原書記外多數同地に出張中なりと

◎船渠會社發起人會

十二日午後八時より仁川俱樂部にて開催されたる船渠會社發起人會に出席せる發起人は秋谷、美濃谷、飯田、白神、村谷、緒方の諸氏なりしが同會にては全株三千株中の大凡を全株を發起人にて持つ事に協議決定せる由にて認可あり次第殘餘の株は一般より募集する事となる可し（仁川）

南言北語

▲軍隊で命令と云ふことは絕對不可抗のものであるが平生なら兎も角永い戰爭となり敗戰でもすると士氣も規律も大分亂れて來るらしい▲其處で命令も『進め』一點張りでは何うも效能がないらしい話だが鳥渡獨逸を見ても知れる▲獨逸の命令には大抵條件が付て居る▲獨帝がヴエルダン攻擊の時の命令は『ヴエルダンが陷ちたら直ぐ其處で講和談判をやるから』と云ふ念入りの前置で『進めッ』と命令したは名高い話だ▲ヒンデンブルグがワルソウを乘り取る時には『ワルソウの町に一番に飛び込んだものには寺院境內にある黃金の大きな十字架をやる』と約束して『進めッ』▲マッケンゼンが塞耳維に侵入する時塞耳維內にある飲食物の掠奪は許すと云ふ條件▲殊にお可笑のはマッケンゼンが敗走の塞軍に麥酒を御馳走して『止まれ』と命令したが塞兵は恐怖と生醉で逃げ腰が坐はらなかつたとは笑止▲フオンビユロー將軍が英軍陣地に强襲の際『夕食には三鞭酒でもハムでも御馳走する』と云ふ條件で『進めッ』▲墺軍がイソンゾ進擊の一般方略を示した命令の中にこんな奇拔なのがある▲『美しい伊太利の女と甘いベネチヤの酒とは諸君待ち焦れて居る』頗る以て振つて居る▲がこれもたしかに研究に値する事だ。

◎書籍案內◎

蒙古通誌（中島竦）
帝範臣軌國字解（市川鶴鳴）
太陽萬年毛筆
附屬品替穗
同スクリップ
最新漢和辭典
漢學速成
奴內藏隸話
トルストイ
法然上人
新京俳句
兩去感誌
隨山大納言錄
中高麗言
纂漢和辭典
雀勇豪
明治天皇
同鮮文
長太平史
業平秘星
前者記
朝鮮產業指針
高杉晋作
朝顏及其栽培法
三國千字文
學理的事業法
財界失敗論（上下）
朝鮮熟語解
露國武斷外交
朝鮮不動產登記申請
銃獵之趣味
朝鮮新地圖
京城府新地圖
膠洲灣地圖
稻田一作
同後編
女傳
藤原義士傳
名婦影傳
赤穗義士傳
御前講談
伯爵餘次
滿家政論
國民年鑑
理想の分家
假名處女
擅球指南
富貴の道しるべ
致富の要訣
過去の罪
櫟村規
朝鮮語集
書家列傳
世界の話
山水要傳
吉田松陰縁起記

京城太平通壹丁目
京城日報代理部

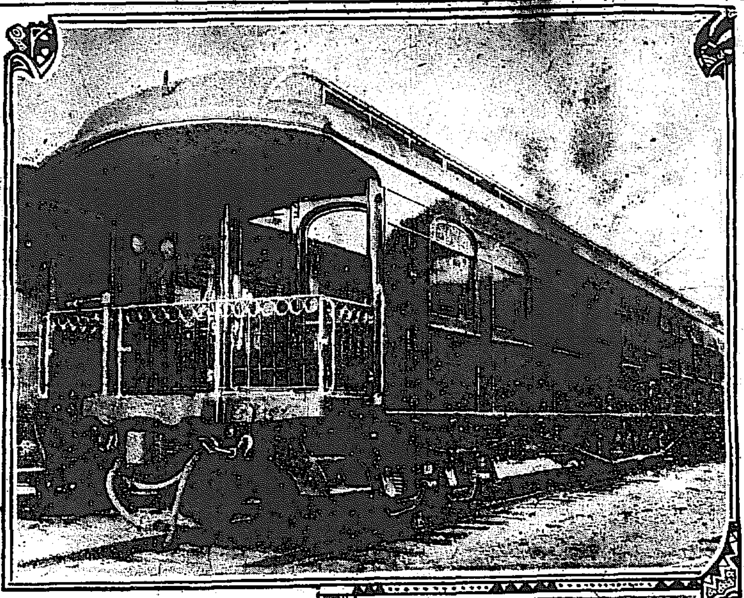
醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
一、最大の購買力は品質優越の證

最上 醬油
（キハク印）

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

向ひ稲作の生育には申分なき高度の氣温を催し漸次作柄を見直したれば當地方に於ける農况は悲觀説を一變し……に吸收さるゝもの多く精米原料の買付として寧ろ不引合の状態にて著しき取引を見ず此間内地相場は一時傾……轉ばれ市價軟調と相俟て米界一段落……を告げたるものゝ如く商况頗る閑散に入り尾……しき資金の需要起らず……りじを以て金融も不活潑なるを免がれず概して經濟の鈍に八月を終れり米は月半までは元山京仁方面に於け……の實行亦た漸らぎたるを以て三十……錢方弱含みなるも近年の上値にて相……變らず地場高の爲め内地注文に出合……市は海外市場の活躍により益々好勢……を促し更に市價七八圓を激騰する……稀なる景况なるが鮮盆の需要として

●月清し釜山港頭
大使の宮を迎ひ奉る



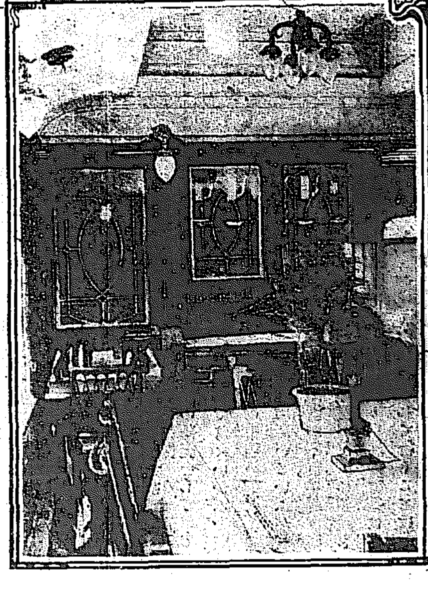
遣露大使閑院宮載仁親王殿下には御豫定よりは約二十分早く十三日午後八時五十分を以て重き使命を帶び給へる御艇の第一歩を朝鮮の地に印せられたり、此の日朝來薄曇りの空の午後に至りて隈なく晴れかゝりたるに夕ともなれば明鏡の如き十六夜の月は靜けき海上にその清らかなる光影のいとさゝやかなるを落して金波銀波美しう碎くるさまは海に精ありて大使宮殿下御來著の驩びに躍るよと思はるゝばかり、海に穏かなる秋氣色なりき、斯くて午後八時となれば清く澄める月光を滿艫に浴びつゝ殿下御搭乘の新羅丸は舷門に輝く灯も華かに組脚輕く徐々として棧橋に近寄り來れり

▲御機嫌最麗はし

陸上には午後八時までに集合せる在釜山の文武高等官、軍隊、在郷軍人會員、地方有力者、赤十字愛國婦人會員、中學校、商業學校、商業專修學校、各小學校、普通學校の生徒等鳴を靜めて迎へ奉る間に新羅丸の棧橋に横著けとなりぬればやがて御上陸相成るべく特別船橋は開かれ山縣政務總監、秋山軍司令官、立花第十九師團長、古海警務總長、大屋鐵道局長、官、佐々木慶南道長官、若松釜山府尹の各員は直ちに御乘船に伺候すれば殿下には御機嫌殊の外麗はしく山縣政務總監以下に對して御挨拶ありやがてカーキ色の陸軍大將の御正服に大勳位菊花副章を御佩用内山侍從武官長、安達金擬公使、吉田式部官、中島陸軍少將、中島御附武官、松井宮内事務官、黒川歩兵中佐、合田三等軍醫正外數名の宮内省屬官の隨行員を隨へ松原新羅丸船長の御先導にて棧橋に降りたち給へば此處より桂釜山驛長御先導申し上げ下の關より御警衛申上げたる野津釜山憲兵分隊長以下先驅し奉り釜山守備一箇中隊の堵列捧銃喇叭吹奏中を出迎への官民一同に御會釋を賜ひつゝ御休憩所なる鐵道ホテルに入らせられたり

▲奉迎の諸員に謁を賜はる

それより御休憩所において佐々木道長官、若松府尹、望月牛疫血清所長、鈴木地方法院長、志賀郵便局長、小倉草梁鐵道工場長、大谷稅關長代理、商業會議所會頭として又赤十字社有功章佩用者として大池忠助、民間代表者迫間房太郎、學校組合代表者香椎源太郎、吉成在郷軍人分會長、王丸守備隊長、野津憲兵分隊長の諸員（郷津檢事正は病氣引籠、橋本警視は防疫事務に直接し御遠慮申上ぐ）に拜謁を仰せ付けられたるのち午後十時五十分、特別列車に御乘車京城より御出迎へ申上げたる山縣政務總監以下の諸員並びに隨行員を隨がへられ御機嫌麗はしく御出發相成りたるが奉送者は御上陸の際と同じ順序にて第一プラットフォームに御見送り申上げたり（十三日午後十一時釜山特派員發）



御召列車（上）同食堂（下）

◆明月に御感慨いと深し

遣露大使宮殿下御入港の際は別報の如く澄み渡れる中天には十六夜の月の照りて海波を照らせるさま近頃珍らしき良夜なりしが宮殿下には新羅丸の甲板上に御英姿を現はされ、喜びに輝ける港内の景色を飽かず御覽ありたる中にも皎々たる名月の湖内隈なく照り渡れるを殊の外御感慨深く御觀賞ありしやに承はる（十三日午後十一時釜山特派員發）

◆御土產の荷、目も綾なりこそ

大使宮御一行の御荷物七十四個中には露國皇室に御贈呈相成るべき御土產物の一部、要路の大官に御贈進相成るべき各種の勳章、殿下が露國皇帝陛下と御對面の際御著用相成るべき大禮服、御平常用の四季を通じたるとりどりの御服、隨行員の禮服等もありて遠き國に使し給ふことなれば數々の御調度目も綾なりと承はる（十三日午後十一時三十分特派員發）

●大使宮 門司御解纜

遣露の大命を拜せられたる閑院宮殿下には内山侍從武官長其の他の隨員を隨へさせられ十三日午前九時三十八分下關御著柴第十二師團長黒金山口縣知事、長尾九州鐵道管理局長、下關要塞司令部員等多數の出迎を受けさせられ殿下には御機嫌殊の外麗はしく御會釋を賜ひ直ちに關釜聯絡船新羅丸右舷特別室に御便乘同十時十分下關解纜下關驛察門司港務部汽艇滿船飾を爲し港外迄御先導を爲し御渡鮮遊ばされたり（門司特電）

●一等當選 大阪の島津楢造氏

‖飛行機發動機の懸賞製作‖ 民間飛行界に於ける發動機研究發展増進の目的を以て一昨年四月帝國公共會が一等金二萬圓二等金一萬圓三等金五千圓の賞を懸け純日本製發動機募集中なりしが應募者二十二名中所澤檢定所に於て實物に就き試驗檢定の結果最優良の成績を得たる島津楢造氏（大阪）製作發動機を一等に推薦せり依つて十三日午前十一時上野精養軒に於て同會總裁久邇宮殿下の台臨を仰ぎ會長大隈侯爵より島津氏に對し賞金目錄を授與せり（東京特電）

●乃木神社例祭

偉人乃木將軍薨じて五星霜十三日は恰も其の命日に相當せるを以て同日午前十時より青山なる將軍墓前にて親屬一同參列の上例年の通り墓前祭を行ひ又赤坂新坂町なる故將軍邸の乃木神社にては乃木會主催の例祭あり會長阪谷男爵は目下渡歐中に付中野武營氏代つて主催者となり奥田東京市長其他海陸軍將官木戶侯爵等百餘名參列し宮司祝詞を奏し終つて神饌を供し參列の諸氏玉串を捧げ散會せり（東京特電）

●殉職巡查叙勳

曩に鄭家屯に於て殉職せる河瀨巡查に對し八月十三日附左の通り叙勳の御沙汰ありたり（東京特電）

叙勳八等授白色桐葉章　關東都督府巡查　河瀨松太郎

●萬代氏愈有罪

官文書僞造事件にて有罪の判決を受け上告中なりし岡山縣選出國民黨所屬代議士萬代嘉平治氏は十三日大審院に於て上告棄却の判決を受けたれば愈々有罪と決したるを以て同縣は不日補缺選擧を執行すべしと（東京特電）

●遺佛救護班の東上

十三日午前歸朝せる遺佛赤十字社救護班一行は同日午後神戶より入洛十四日桃山御陵に參拜の上東上す（大阪特電）

●仁川の招魂祭

來る二十日午前十時より仁川日本公園に於て開かるゝ秋季招魂祭には例年の如く各官廳より有志の參拜ある外在鄉軍人會よりも多數參拜すべしと

●朝鮮服を著けて史蹟の踏查
平安道から歸つた黒板博士の土產話

去月廿三日より平安南北道地方の史蹟踏查に赴いた黒板博士は十一日の夜廿日振りに歸つて來た、道回の博士の旅程は平壤から大同江畔を踏查し鎭南浦から南方の殷栗に渡り更に北方

▼廣梁灣附近の 龍岡から京義線沿線の龍川、宣川、定州方面を經て沙里院に出たのであつた、博士のお土產ばなしに曰く、近回の古蹟調查はまだ整理してないからおはなし致し兼ねる、それに平壤を中心として平安南北道の地方は鳥渡短日月の調查では解り難いやうである踏查した中で最も興味のあつたのは矢張

▼大同江と平壤 であつた、平壤の箕氏廟は自分も鳥渡見て來たがあれは全く朝鮮に遺つた傳説に過ぎない、しかも古い時代から言ひ傳へらるゝところを見れば平壤といふ所が朝鮮で一番古くから開けた土地であると思はれる、古代の朝鮮には到る處住民は居つたに相違ないが先づ一番さきに開けたのはあの平原であつたと思ふ平壤は實に朝鮮

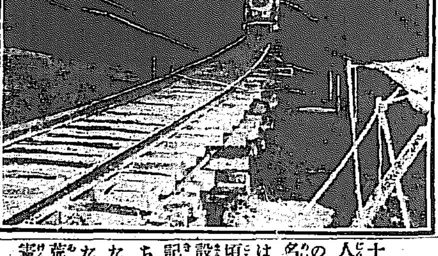
▼文明の發祥地 である、次にまた檀君の故事も一種の傳説に過ぎないしかも李朝時代になつて盛んに唱へ始められたもので檀君の居つたと稱せらるゝ山が現に殷栗附近にもあるのである問題のことは別に歷史上の價値ある問題でもないが平安南北道で眞面目に調べることは先づ樂浪、高句麗の歷史である、また大同江の流れが載寧江と合して鐵島鎭地の附近に注ぐあたり

▼東津の岬角に 於て自分は一つの城砦を調查して來た此の城砦はむかしから已に史に記されてゐるけれ共何分龍岡郡衙を距る五六里の地に在るから交通不便の所でもあるしこれまで餘り識られてないやうに思ふ、城は大同江の入口を扼する天險である。其の他附近には沙里院に降りて彼地で有名な塼で築いた古墳を見て來たが更に纏まつたはなしは調べた上で發表しよう、なに例の朝鮮服の一件か、無論

▼廿日間の旅行 は周衣で通した、殊に平壤では喪服に著ける大編笠をかぶつて步いたがあれもなかなか工合のよいものである、それに田舍道の多くは矮い朝鮮馬に騎つて歩いたから何處に往くにも不便はなかつた、猶ほまた平安南北道の山河は昨年自分の踏查した南鮮とは非常に趣きを異にし彼の畑に戰ぐ高粱の葉陰を見てもこれを水田ばかりの南鮮に比較すると非常に大陸的な風光である、猶ほまた住民も李朝時代から慓悍の民であつたので今でも一般に其氣風が遺つて居るやうである

●公式運轉 成功 假橋修理成る

十日夜來の大洪水のため京釜線始興安養間五哩の線路に大破損を來し就中安養川の假橋流失したるため約三日半の不通を來せるが時恰かも遣露特使宮殿下が



安養川假橋梁上の公式運轉（十三日午後九時撮影）

▼十四日早朝 御通過の御豫定となり居れるため鐵道局に於ても焦慮一方ならず十一日以來大屋長官始め保線係總出の上千數百名の人夫を使役し晝夜兼行の姿にて復舊工事に努めたる甲斐空しからず漸く十三日午後五時二十八分に至り試運轉を行ふ迄進行し水原驛に停車中の大型六輪機關車を運轉し來り各係員監視の裡に運轉を行はんとしたるも尚ほ不充分なる點ありとし六時四十分に至り辛うじて

▼假橋を渡り 運轉することを得たり同機關車は約百二十噸の重量を有するものなれば列車を運轉せしむるとも充分安全を保證し得可しとの確信を得同機關車は再び假橋を渡りて水原に引返し更に九時十四分の釜山行急行は八百人の乘客を乘せ同九時十八分の京城行急行も亦略同樣の乘客を乘せ何れも九輛の車輛を連結して

▼公式運轉を 行ひたるに何等の異狀なく無事通過することを得たり最も假橋通過の際は一時間約六哩の速力にして殆んど步行と大差なき程度の徐行にして殊に十四日午前六時四十分御召列車の運轉の際には一層徐行に注意する由なれば萬々間違のことなかるべしと保線係員は語り居たり

●東萊電車三名を轢き倒す
電車を叩き壞す 十三日夜の椿事

十三日午後八時頃釜山鎭に於いて鮮人三名が誤まつて朝鮮瓦斯電氣會社の東萊行電車に觸れ一名は即死し二名は重輕傷を負ひたるが恰かも當日は舊盆に當り附近一帶の鮮人は晝の頃より釜山鎭に群集し各所に酒宴を設けて打興じつゝ喧躁し居りしが前記の轢死騷ぎを聞くや一齊に殺氣立ちその電車に殺到して盛んに投石したる上叩き壞したるが、勢ひに乘じたる群集は尚ほ盛んに各所に投石し荒れ狂ひつゝあるが目下多數の警官憲兵出張して鎭撫に努め居れり（十三日午後十時半釜山特電）

劇

▲黄金館 ○○○ 十四日より新派……△滑稽野人と鯰△泰西正劇怪傑……△吉原……△新派悲劇……三巻……

▲浪花館 ○○○ 女義太夫竹本林之助一座にて十四日六日目の語り物は左の如し △忠臣藏落合（廣久）△日蓮記瀧作住家（林助）△壇浦八丈鈴ヶ森（住子）△日吉丸小牧山城中（林玉）▲卅三間堂平太郎住家（は昇）△太功記尼ヶ崎（久子）△おつま八郎兵衛鰻谷（廣治）▲廿四孝狐火（林之助、東馬助）

▲有樂館 ○○○ 十五日より一週年記念のため舊劇平井權八、新派盲目藝者、泰西活劇モルガンの盜賊等を上場し浪花節の出演もある由

咸興

▲咸興議員確定 曩に執行せられたる咸興學校組合評議員補缺選擧の結果當選者……就……認確定し中原正作、濱田十三……貞藏、武藤雷藏四氏の就……

▲神宮工事進捗 咸興大神宮建設に就き認可の指令に接したる後間もな……

髪を黒く長くつやを出す
さらく
として髪のわけを防ぐ

かつけ病者に告ぐ
東京地方裁判所に登錄を受く
かつけふうじ
京城大和町一丁目十番地
京城出張所
委しきは電話千三番へ御照會

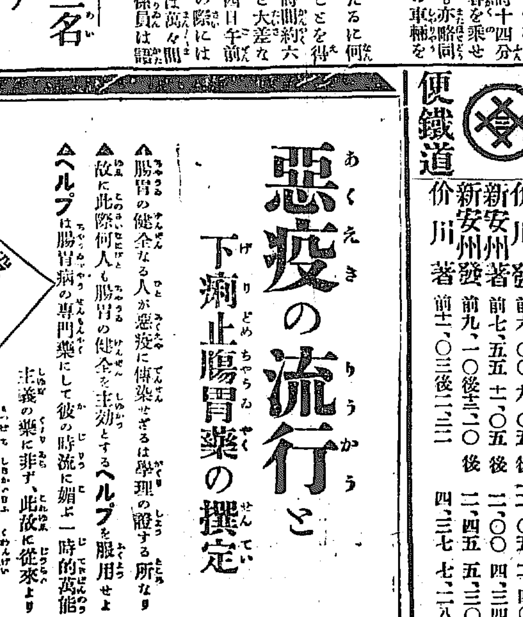
醫化學諸器械一式
(K)
藥種賣藥卸商
仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後一二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	一一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後一二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前一一、〇三	後二、二二	四、三七	七、二八

惡疫の流行と
下痢止腸胃藥の撰定

▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の證する所なり
▲故に此際何人も腸胃の健全を主効とするヘルプを服用せよ
▲ヘルプは腸胃病の專門藥にして彼の時流に媚ぶ一時的萬能主義の藥に非ず、此故に從來より專ら智識階級に歡迎せらる



下痢の原因
が多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば藥劑の撰定に充分なる注意を要す
●然るに從來の賣藥は單純の收斂劑にて消化と殺菌の用意ある物なし
●柏村博士のヘルプは此缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且安全也

是れヘルプの高評を得し所以

女鳩

渡邊默禪

「一〇四」血嵐

鳩子は檻を破られたことを知らなかつた。父の打出す第二發の銃聲もろとも、突然源作の消魂ましい叫びが聞えたので、何だらうと思つて向直つた刹那、筋計うつてずるりと岩の上から轉がり落ちた獵師を見た。二三人はそれに續いて慌たゞしく飛下りた。一人は下りた機會に雪に滑つて仰のけさまに仆れかゝつた。その胸の上にどしんと墜ちて來た真黒な物、それが血に狂つた猛獸の怖ろしい影だつた。

『危ないッ！ぎけッ！』

その跡を逐つて岩の上に現れた子爵は、近距離に立つてゐる鳩子を見て大聲に呼んだ。鳩子はハツト驚いて身を翻しながら五六歩右へ避けた。そして手にした三連銃を急いで把直しつゝ、照星を熊のポイントにつけて防禦射撃の姿勢をとつた。熊は牡丹の花瓣のやうなどろりとした血漸を白布の如き雪に滴らせつゝ、蹣々と二三歩蹣いた。子爵はそこを狙つて岩の上からドンと三發目の彈丸を喰はした。その彈道は少しく右にそれて、鳩子の面前三呎の空氣をピーと震はして去つた。

背後の銃聲に劫かされた熊は、ぬつと前趾を立てゝ直立した。銀鈴のやうな眼は忽ち鳩子に向つて輝いた。そしてオーといふ唸りを揚げながら悪魔のやうな勢ひをもつて雪煙を渦巻かせ、一直線に飛蒐つて來た。鳩子は引金を引いた。けれども猛獸狩に經驗のない乙女の、いたづらに氣を焦らしたため、たゞ背を掠めたゞけで後へ流れた、失策つたと慌いて二發目をくれようとした寸秒が、熊に機先を制せられた危險の時であつた、一同が呀と驚く間に鳩子の纖弱い體は銃もろともに仆れた、熊はその上を一飛に跳り超ゑてぐるりと回轉した。幾んど夢中になつて起揚らうとした鳩子の目先に尖鎌のやうな牙がぎらりと閃いた。あれいと悲鳴を揚げて又た仰さまに仆れた彼女の體は、その牙に釣られてずる〳〵と五六間餘りも曳摺られた。

『あッ、あッ！』

子爵は丸顏する暇もなく、岩の上で頓足踏んだ、咄嗟のうちにそれを救ふには餘りに距離が遠かつた。

この一大事に際して、大野は何を爲しつゝありしか。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊

熊狩の最中、生駒吉十郎は十數人の糧食部隊を引率して地獄谷に著いた。その群のなかに源作の伜の源太がまじつてゐたことは無論である。

彼はちやうど六日の間龍が淵の麓にあたるお籠室に蟄伏してゐた。大荒れに吹き續けた風雪がばたりと歇んだのはやつと二時間前のことである。いざ此の間にと一同を勵まし立てゝ五人を雪路の役にして先導させ、他の十人に米袋や食料を背負はせて、上り二十餘丁の峠を越ゑ、天狗の角力取場から一息に谷を目蒐けて驅下つた。さぞ皆なは困つてゐるであらう。一刻も早く急げ〳〵と懸聲した彼の口の裏には、悪魔のやうな冷たい嘲笑が潜んでゐた。

もう今頃は骨と皮ばかりになつて干鱈のやうに雪の中を泳いでゐるに違ひない。少くも鳩子だけは雪佛になつて轉がつてゐる時分だ。』

これであつた。大丈夫それに違ひないと信じ切つてゐた。と、天狗の角力取場を下りかける頃、何處でかズドンと銃聲がした。變に思つてその方向を瞰つて見ると、遠い谷底の崖下に黒い多くの人影が昆蟲のやうに動いてゐる。どうやら獵でも始めてゐるらしい。彼は案に相違して是はとばかり肝を潰した。

大田湖南吟社小集

—九月九日於風骨庵—

(課題) 鵙 散柳 秋の水 星月夜

山塞の枯れし立木や鵙の聲 待宵
二階さゞめくに散る柳哉 同
鵙鳴くや雨晴れて杉高き宮 狸月
尼の來て口嗽ぎけり秋の水 同
近路の土橋落つ鵙の聲す日 月波
鵙高鳴くに水門の泡渦巻けり 同
髑馬進む樹頭に鵙の寂鳴く いかり
足痛む遠き温泉路や鵙鳴り 同
百舌鳥鳴くや山端に淡き朝の月 西水
鵙鳴くや雨雲ひらく山の池 中京
秋の水石間をくゞる細き音 同
茶を運ぶ離家に鵙のけたゝまし 雅溪
差す傘の柄漏り冷たし柳散る 同
食器洗ふ水の冷たさ柳散る 春三女
水底の錆天保錢や秋の川 同
夕日さらつく淺瀬の魚や秋の川 紅星
悔心の一詩寫すや秋の水 三舟
靜かなる母校の門や柳散る 秋骨
片あげし鷺の脚秋の水乏し 千里
誘拐の駕廻し逃ぐや鵙の聲 風骨
鵙晴れや繼母の笞に甘んぜり 同
波招れに穴もつ貝や秋の水 同
巣はなれの鳥の夜鳴きや星月夜 同

婦人科 産科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一三〇一番

新刊紹介

▲食物の養生(九月號) 朝鮮支那食餌療法の所説、赤ん坊に食物の注意、胃腸病と其食物撰擇法等(十三錢東京市牛込區市谷々町五一石塚食療所)

▲文藝雜誌(九月號) 森田草平、生田長江、生方敏郎等諸氏の豐影になる文藝の雜誌にして讀者文藝欄等其だ振ゑるを見る(十八錢東京市小石川區原町一三日本文藝協會)

▲海友(八月號) 海運、造船、航海、海港、海運政策等に關する記事、鄭永寧氏の政む渡邊博士の新造船六十萬噸、和田博士の日本海環流説の補遺等見るべし(十五錢大連市寺内通二大連海務協會)

▲都會及農村(九月號) 社會革新の要諦志田博士、地方青年と宗教井上博士、農家の生活を整理せよ福岡文學士等の外一木内相、後藤男、井上、山脇兩博士の說等青年の讀むべきもの多し(十五錢東京市麹町區平河町五の三六洛陽堂)

▲工業生活(九月號) 佐藤學士發明の不燃セルロイドに就て、及物價騰貴四十八手題目解說、米食か肉食か等の外例(十錢東京市小石川區表町一〇九大日本工業學會)

▲茨城名勝俚諺正調郷の花 水郷茨城縣の山紫水明、名所舊跡、人情風俗等を謠ひたる俚謠の正調を全國に募集し朝報社の知秋、湿安兩氏共選内乙夜氏の撰したるもの二千餘首悉く佳句玉吟にして優雅典麗、天眞流暢時勢情趣共に備はるを以て月ヶ高唱して三絃に和して低唱すべし(三十五錢東京市下谷區谷中清水町一九郷情吟社)

▲韓地族法山と海 醫學士に立脚して山と海との比較研究を爲し各其の氣候上の生理を說き以て男女、老幼、病症等に依つて選擇すべき韓地族發地を教ふるもの病者法弱者の福音と謂ふべし(七十錢東京市麹町區平河町五の三六洛陽堂)

▲海紅『九月號』 一碧樓等の主宰する新傾向派の俳句雜誌也、撰獲の帛實(碧梧桐、須磨光等)の外雜筆俳句掲載(二十四錢東京市下谷上根岸七四海紅社發行)

▲かささぎ『第二號』 咸興にて發行する西北鮮唯一の俳句雜誌也、初號に劣らぬ俳論俳話俳句滿載せらる、窓外吉郎(許顛子)と題する漢文の俳論は近頃の俳誌には珍らしく(會費月十錢を納むる會員に頒つ、成鏡南道咸興鄕校里其社發行)

▲英語研究(九月號) 中學三年生以上五年生徒迄の程度にして現代の英文學英語の頭と尾との研究熟語慣用語句の研究、英文時事日記其他活用を主として編纂せるもの(十二錢東京市麹町區富士見町六一〇研究社)

▲中等英語(九月號) 中學一年生より三年生位迄の程度のものなり英文和譯、和文英譯、文法、會話、綴字、發音等總て興味を以て研究せしめんとするもの參考となる事多かるべし(十二錢東京市麹町區富士見町六ノ一〇研究社)

讀者の聲

▲貴社の此春の城壁巡りは人々の心に思つて實行し得なかつたことで好い催しでありましたが追々叉野遊びの時季になりましたが京城近郊の山登でも催されては如何でうして可成城壁巡りの樣な計畫に願たい(山岳狂)▲此計畫に就いては既に各方面から希望があつて是非實行したいと思つて居ります發表の上は御參加下さい(係)

▲三線連絡運賃問題では大連で大變な騒ぎの樣だが何といふても自然の大勢は動かせぬものだから人爲的の方法を設けても駄目だ水は矢張り低きに就いて流れるもの若い讒だがいふ樣な御旅程であつたとするも、道露の宮殿下でも若し大連御上陸と常に迂廻した不便な道を御取りになつた樣に思はれるではないか此理屈でも何んでもなくして耳に自然に聞ゆるのが一番力強い理由だ(大連歸來者)▲今度の豪雨は朝鮮全道に亙つて被害があつたといふがお米が高くなつては困る(老媼辨)▲湯錢問題に就いて議論ばかりしても解決は著かぬ詳細な數字の研究をして早く實行問題に移らうではないか不徹底な理窟をこねる奴は引込め(セツカチ生)▲京城の家賃が高いといふが其原因に遡ると地價が不當に昇り過ぎて居るのだ此地價が京城に相應した程度迄下らぬ限り京城の繁榮は常に幾部分宛妨げられて行くことは免れぬのだ(經濟通)

商況

大阪期米(十三日)

下關期米特電

▲十三日後場(晴、双方氣乘り薄閑散)
當限 一三、八五 中限 一四、三六 先限 一四、六二

▲十三日後場 兵庫後寄十四圓九十二錢東京十五圓十六錢大阪前引十五圓丁度後寄十四圓九十七錢三厘八十九錢と寄移りにて當地當中出來不申先十二圓三十二錢と五錢安に寄付たるも賣物多く三十錢丁度と新安値に押したるが押目は又買物多く三錢と離れたるも依然… 一錢と押したるが大阪… 賣物多く四錢と… たるも今の目先利喰と共他の賣に結局三十… 保合の散會を告げたり市況は大阪の高さに… 反動なるが安値を受けて存外… 成行を示し居りたる…

▲圓能く賣る 今後場同店より賣りたる玉數六千餘石に上りたりとの事一圓五六百石の買ありたるも市場の注目を惹起したり

▲全能く賣る 後場同店より賣りたる玉數三千石

▲今の商内 後場の不勢に向ひて能く買建てたる玉數四千餘石に上りたりとの事なるが引際小掬ひ的に三千餘石を賣り退きたりとの事にて例の今式を發揮したりとの事

▲邑の熱心買 後場同店より熱心に買ひ建てたる玉數三千餘石に上りたりとの事なるが一圓二千餘石の賣りあり市場の注目を惹したり

▲取組更に增大 昨日の買入にて取組高大に…

十二日の十一月限

最高 滋養 フェロール は美味營養共に夏の滋養に適す
めきめき強壯になる
▲弱き人に力を附け▼
美味滋養料
▲婦人小供薬嫌に適當▼
●試用 貳拾錢 ●中瓶 壹圓也 ●大瓶 壹圓七拾錢
◎賣捌は各藥店に
本舖 大阪 小西久兵衛

日用品として アルボース
石鹼の如く消毒力強烈にして且つ安全なる者 內外共に類例なし
不時の怪我は勿論家畜にも廣ろく利用すべし
應用の範圍頗る廣く一々敍へ難し

浮世と舟 惡疫流行 今のむ仁丹 値うち千両
金言 流に順て游げ (英國俚諺)

唐箕、万石、籾摺、臼、箕、鎌、及各種農具其他養蠶器具、機械 肥料、種苗 廉價販賣
京城南大門外 電話局四〇三番 振替口座京城三七八番 朝鮮勸農株式會社販賣部

MITSUWA QUINA-IRON WINE
being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.
The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.
Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50.

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる
ミツワ規那鐵葡萄酒
技師 松田龍彥
滋養強壯料
香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕
規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、強壯等の諸効驗を擧ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せられ、其の効價の愈增大することは既に公知の事實に屬すと雖、其の製法不當ならんか將又其品質不良ならんか、之を服用するも啻に無効なるのみならず、却て不快なる結果を齎らすことを俟たざるなり。然るに本品は歐米に於ける諸種の製品並最新の學說に就て調查研究を重ね、山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、人造著色料を用ひず、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に吸收する處なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不足、慢性の發熱並下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料たると同時に、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力增進を欲する場合に推奬すべき絕好の家庭必需品なり。
定價一壜金壹圓五拾錢
(現品縮寫圖)
ミツワ石鹼 ミツワ家庭藥
東京市日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店 振替東京七一〇番 營業部電話浪花三〇四八、四九〇、四五〇番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町十一番 電話 郵船回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 九月廿二日後四時出帆
○大有丸 九月十九日後四時出帆
○神代丸 九月廿五日後四時出帆
○秀吉丸 九月 日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
第一共同丸 芝罘、大連行 九月十五日後四時入港 九月十七日前九時出帆
大連にては青島行定期船接續各港行
○城津、清津、浦潮行(元山出帆)
第一阿波丸 月 日後九時出帆
第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出帆
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
仁川代理店 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 南大門 電話二四七番 田口回漕部
京城取次店 南大門 電話二六八・二〇一七 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行
○立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行
○立神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦潮行
○小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
○第二琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天與丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山瀛州立新町 本船取扱店 大池回漕部

大邱浦項間自動車發着時間
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話七番 二番

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、鎭海、神戶、大阪行
須磨丸 九月廿一日
安東丸 九月十八日
大智丸 九月廿四日 後五時出帆
○群山、木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
信濃川丸 九月十五日
信濃川丸 十月二日 後二時出帆
○木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
福州丸 九月廿八日
潮州丸 九月 日 後二時出帆
○鎭南浦、大連行
信濃川丸 九月廿七日
信濃川丸 十月十五日 後二時出帆
○大連直行
福州丸 十月三日
潮州丸 九月廿三日 正午出帆
○鎭南浦行
天智丸 九月十四日 正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆)
安平丸 九月十六日
宮島丸 九月廿二日 後二時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 九月廿四日 後四時出帆
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 內國通運會社支店